

よい朝のために。

よい朝のために。



2026年3月期 第3四半期
(2025/4- 2025/12)

決算説明資料

2026年2月9日
株式会社共立メンテナンス
〔証券コード 9616〕

営業利益190億円(前期比+6.6%) 当期純利益143億円(前期比+12.2%) 最高益更新

寮事業

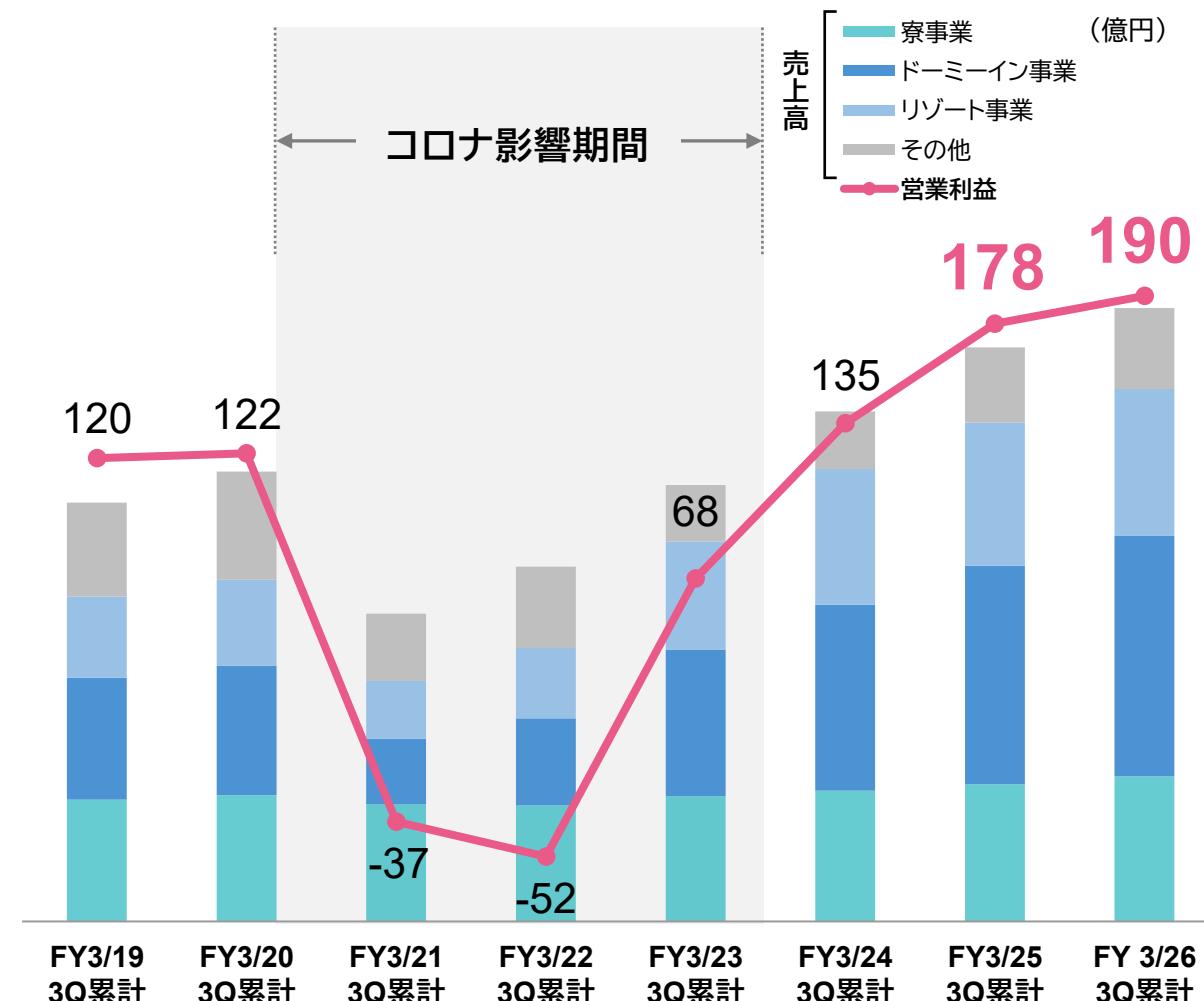
- ・食材費をはじめとする運営コストの増加を吸収して増益
- ・長期契約室数の増加による增收
 - ↳ 学生(前期比6.4%増) / 社員(前期比8.9%増)

ホテル事業

- ・販売価格の適正化推進、コスト増加を吸収して增收増益
- ・インバウンド比率20.6%(前期比1.3ポイント増)
- ・自社予約比率25.6%(前期比3.4ポイント増)
 - ↳ Dormy's会員180万人(前期比71.3%増)

その他

- ・転換社債型新株予約権付社債の転換行使状況
 - ↳ 転換率75.1%(961万株) ※2025年12月末時点
 - ↳ 2026年1月100%転換



連結業績と主要経営指標

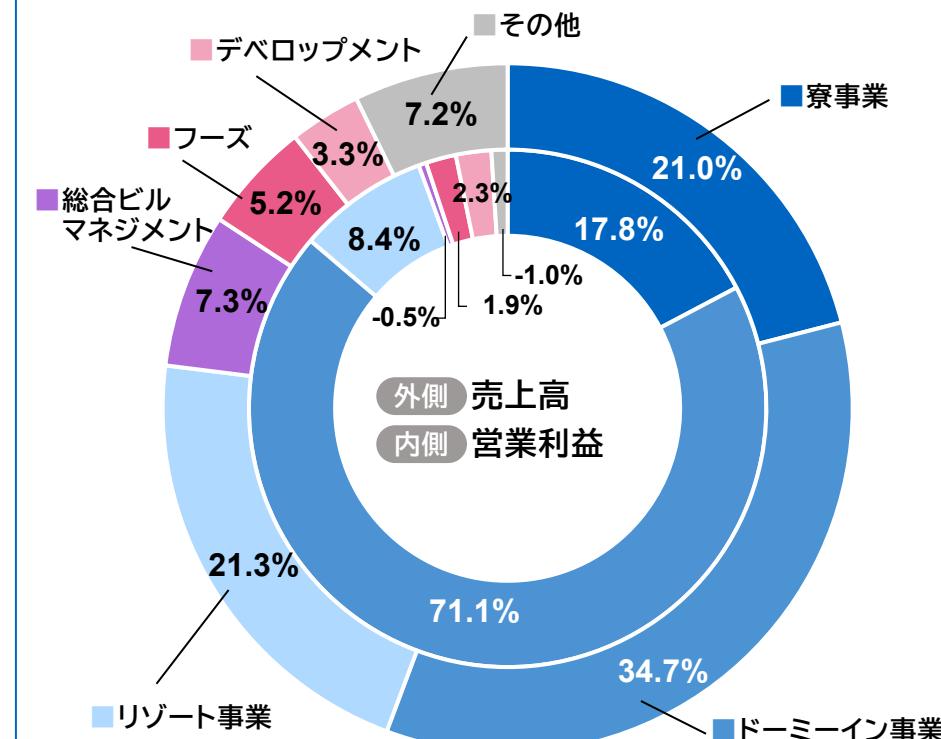
	FY 3/25 3Q累計実績 (2024/4-12)	FY 3/26 3Q累計実績 (2025/4-12)	前期対比	
売上高	1,704	1,825	+121	+7.1%
営業利益	178	190	+11	+6.6%
経常利益	184	195	+10	+5.8%
当期純利益	127	143	+15	+12.2%
EPS(円)	163.4	173.9	+10.4	+6.4%
減価償却費	55	66	+10	+18.2%
キャッシュ・フロー ^{※2}	183	209	+25	+14.0%
設備投資額	270	274	+4	+1.7%

※1 2025年4月1日から2025年12月31日までに発行された転換社債型新株予約権付社債の転換行使による新株発行(9,615,867株)の影響を考慮して算定、影響額を控除したEPSは183.1円(前期比+12.0%)

※2 キャッシュ・フロー：当期純利益+減価償却費

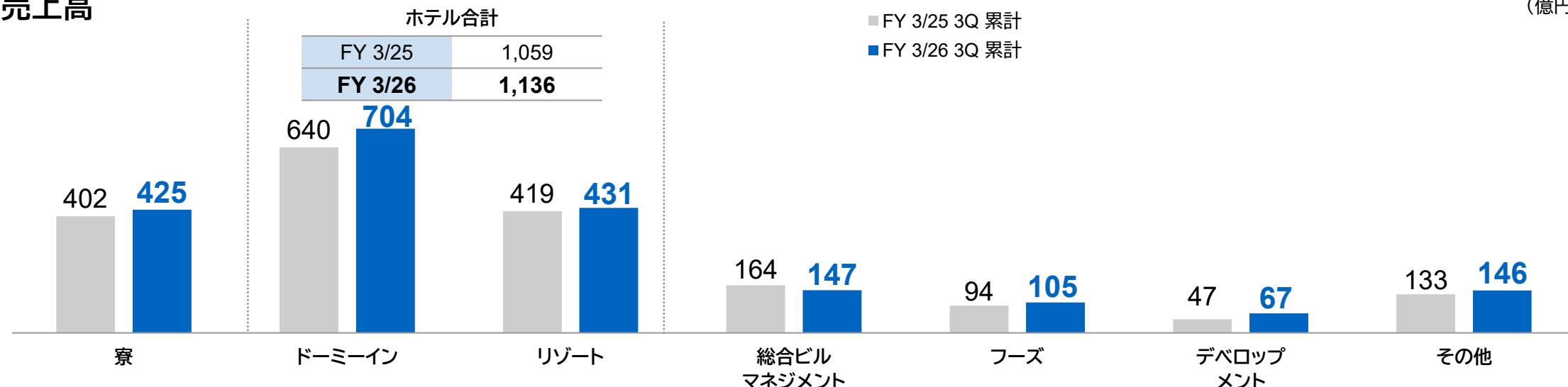
セグメント別構成比 FY 3/26 3Q 累計

(セグメント間内部取引消去前)

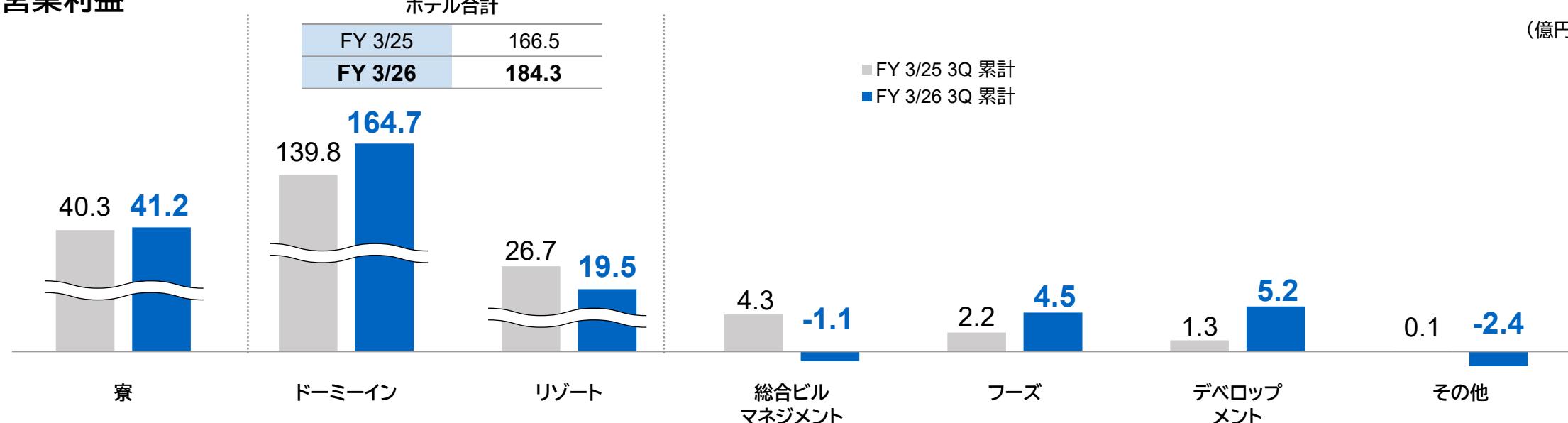


売上高および営業利益の事業セグメント別内訳

売上高

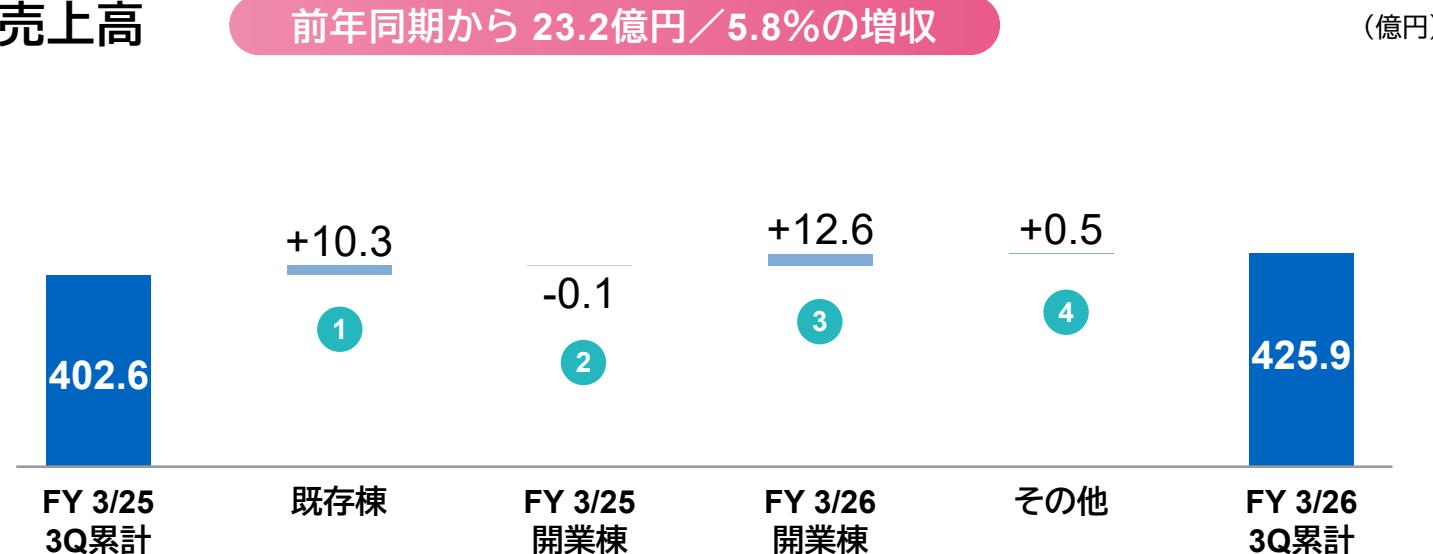


営業利益



売上高

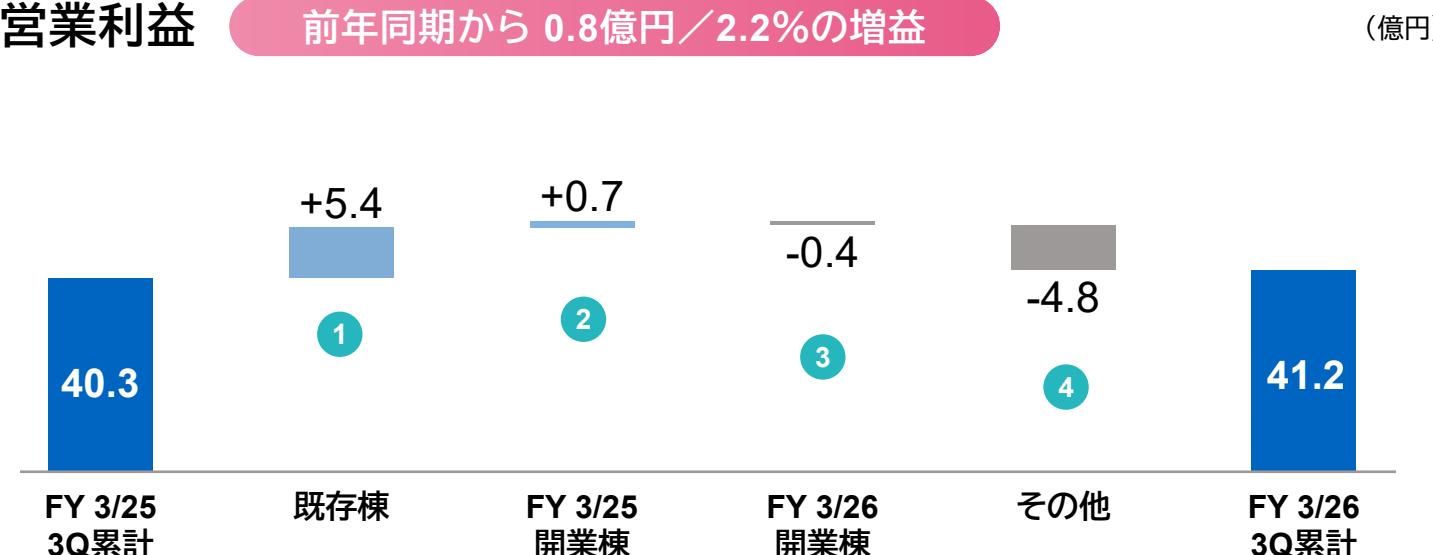
前年同期から 23.2億円／5.8%の増収



(億円)

営業利益

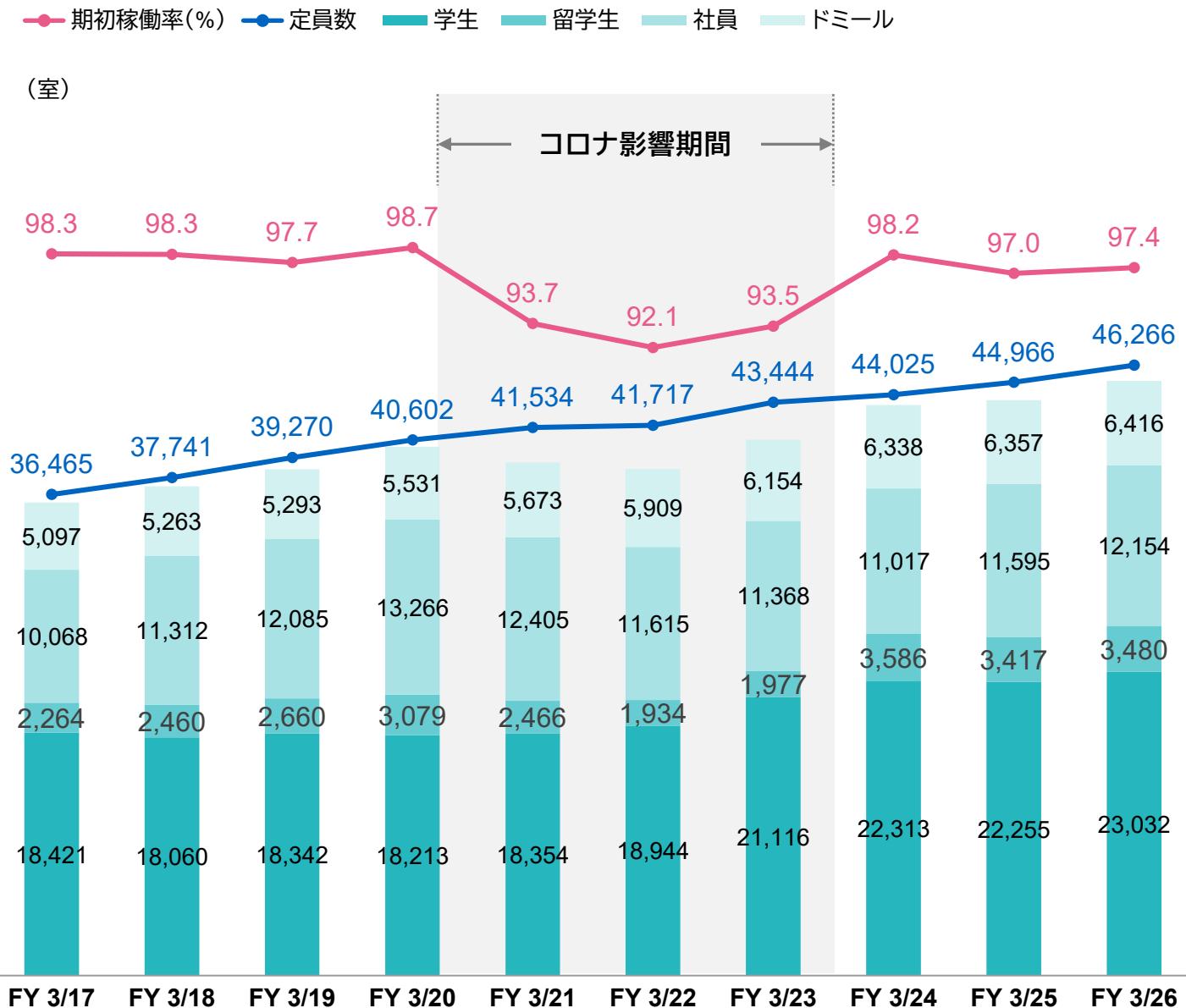
前年同期から 0.8億円／2.2%の増益



(億円)

- 1 販売価格適正化および稼働増加 +11.1
契約金減少 -0.8
- 2 販売価格適正化および稼働増加 +0.7
契約金減少 -0.8
- 3 FY 3/26開業棟 12棟(1,364室)
 ドーミー相模大野2 53室 ドーミー名駅亀島アネックス 89室
 ドーミー坂戸駅前 172室 ドーミー壬生三条 77室
 ドーミー浦安3 33室 ドーミー西大路五条 114室
 ドーミー札幌西18丁目 147室 ドーミー岡山南方 178室
 ドーミー札幌西11丁目 100室 ドーミー高松錦町 126室
 ドーミー仙台川内Hills 156室 徳島大学提携国際学生寮アズール 119室
- 4 受託事業 他 +0.5

- 1 販売価格適正化および稼働増加 +10.1
契約金減少 -0.8
コストインフレーション 他(食材費・人件費等) -3.9
- 2 開業費減少 +0.8
販売価格適正化および稼働増加 +0.7
契約金減少 -0.8
- 3 契約金増加 +1.5
開業費増加 他 -1.9
- 4 本部費用 他(人件費・販促費等) -4.8



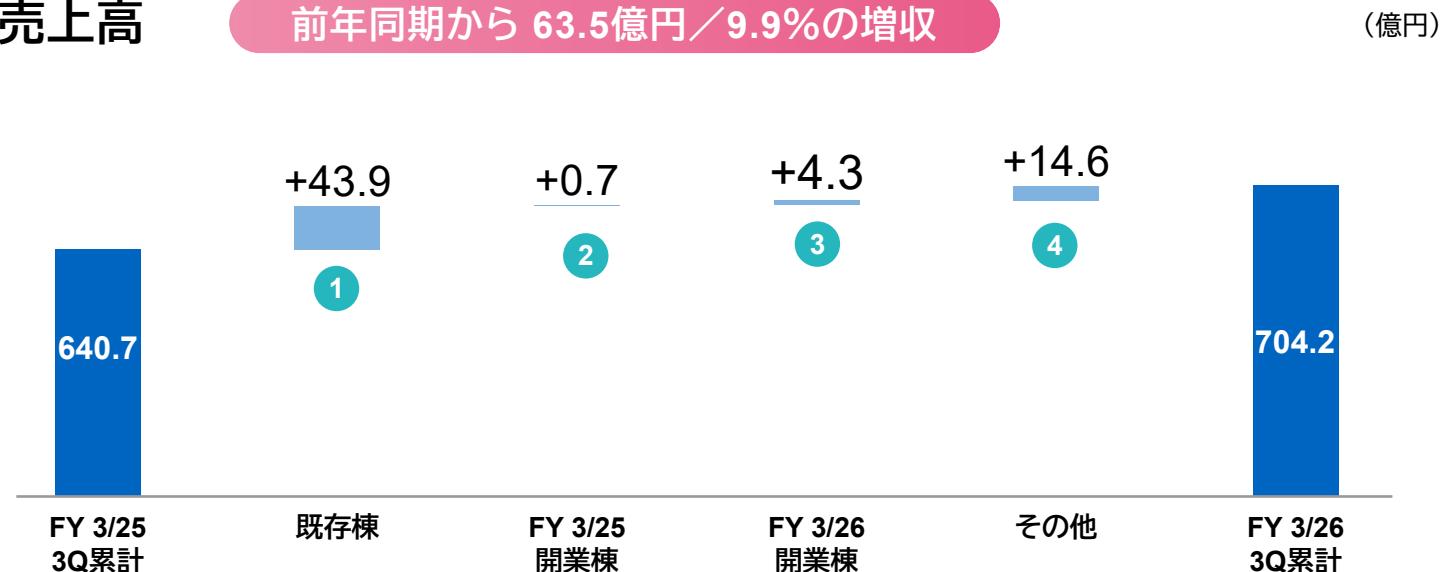
	FY 3/25	FY 3/26	前期対比
期初稼働率	97.0%	97.4%	+0.4pt
物件数(棟)	526	536	+10
定員数(室)	44,966	46,266	+1,300
稼働数(室)	43,624	45,082	+1,458

稼働数の内訳(室)

	FY 3/25	FY 3/26	前期対比
ドミール	6,357	6,416	+59
社員	11,595	12,154	+559
留学生	3,417	3,480	+63
学生	22,255	23,032	+777

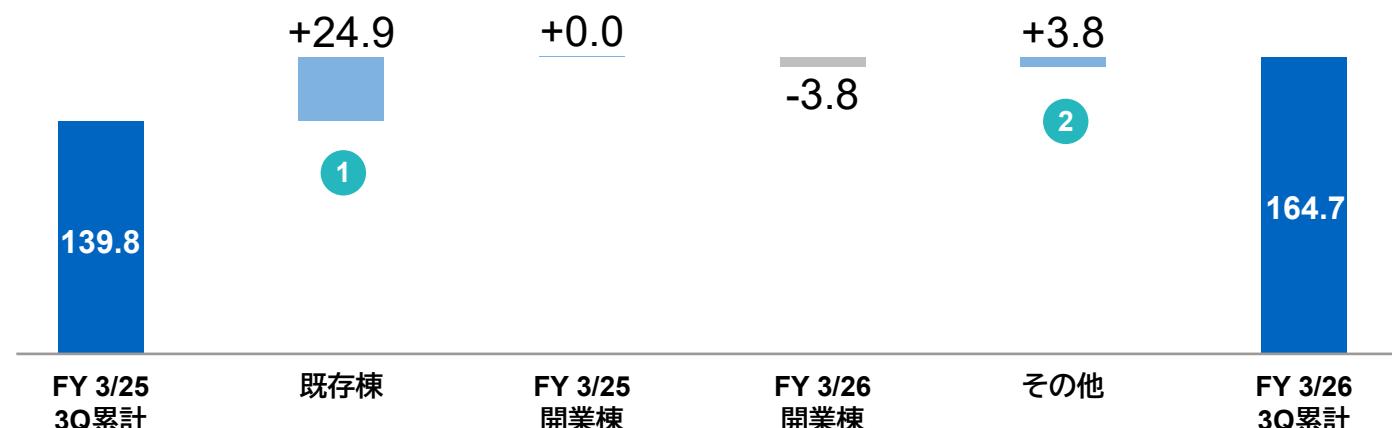
売上高

前年同期から 63.5億円／9.9%の増収



営業利益

前年同期から 24.9億円／17.8%の増益



3Q累計

自社予約比率

インバウンド比率

27.2%

(前期対比+4.2pt)

24.6%

(前期対比+0.4pt)

① RevPAR上昇に伴う増収

+43.9

@15,038円 前期対比 +1,179円(+8.5%)

② FY 3/25開業棟 1棟(78室)

78室

10月 global cabin 横浜中華街(リニューアル)

199室

③ FY 3/26開業棟 3棟(484室)

94室

10月 ドーミーイン敦賀

191室

10月 ドーミーインEXPRESS 雲南

11月 御宿 野乃熊本

+13.5

④ 大規模リニューアル影響

+1.1

韓国 他

① RevPAR上昇に伴う増益

+37.0

集客手数料減少(自社予約比率上昇)

+1.0

コストインフレーション 他(リネン・人件費・食材費等)

-13.1

② 大規模リニューアル影響

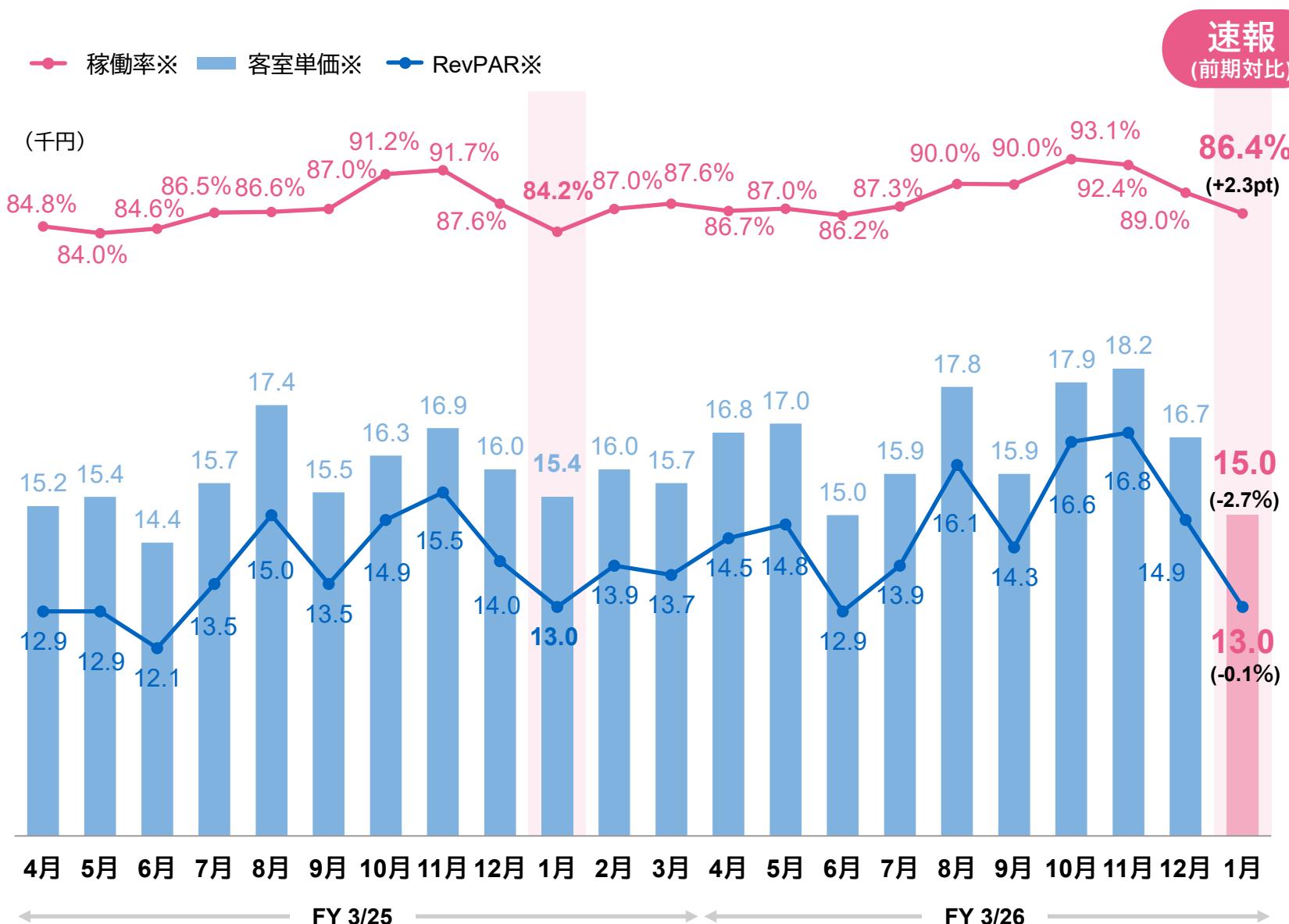
+9.8

開業準備費用

+2.1

本部費用 他 (人件費等)

-8.1



※ 同一条件下で比較するために2024年4月以降に開業したホテルを除外

稼働率 (%)

	1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	通期
FY 3/25	84.5	86.7	90.2	87.1	86.2	86.9
FY 3/26	86.6	89.1	91.5	89.1	-	-
前期対比	+2.2pt	+2.4pt	+1.3pt	+2.0pt	-	-

客室単価 (千円)

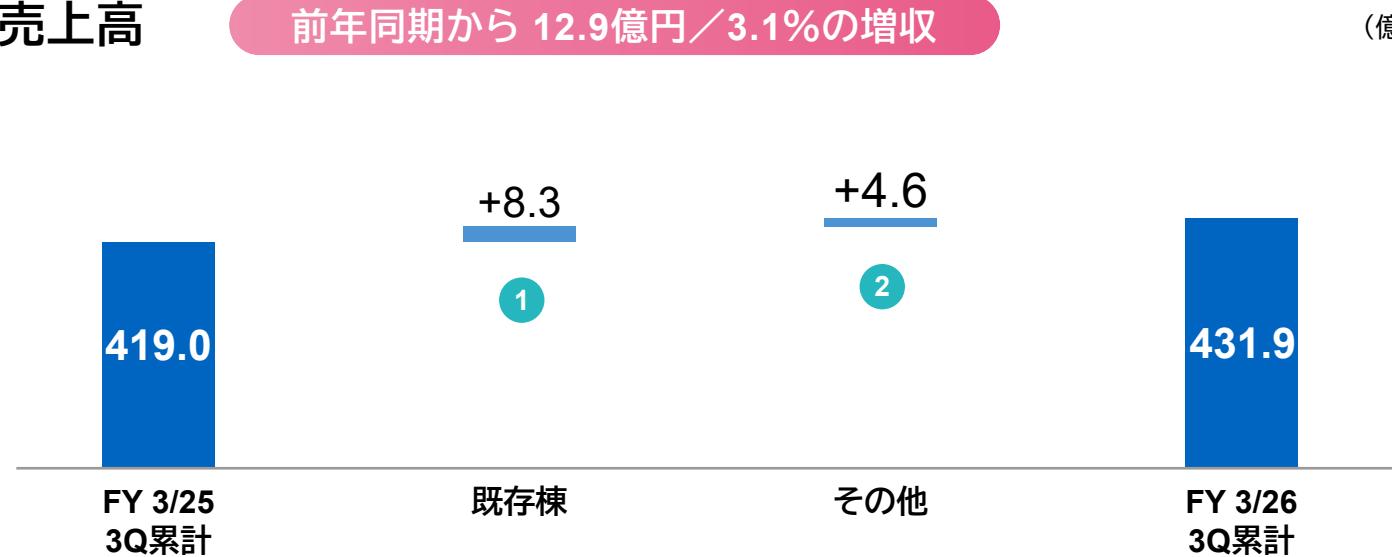
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	通期
FY 3/25	15.0	16.2	16.4	15.9	15.7	15.8
FY 3/26	16.3	16.6	17.6	16.8	-	-
前期対比	+1.2	+0.3	+1.2	+0.9	-	-

RevPAR (千円)

	1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	通期
FY 3/25	12.7	14.0	14.8	13.8	13.5	13.7
FY 3/26	14.1	14.8	16.1	15.0	-	-
前期対比	+1.4	+0.7	+1.3	+1.1	-	-

売上高

前年同期から 12.9億円／3.1%の増収



(億円)

3Q累計

自社予約比率

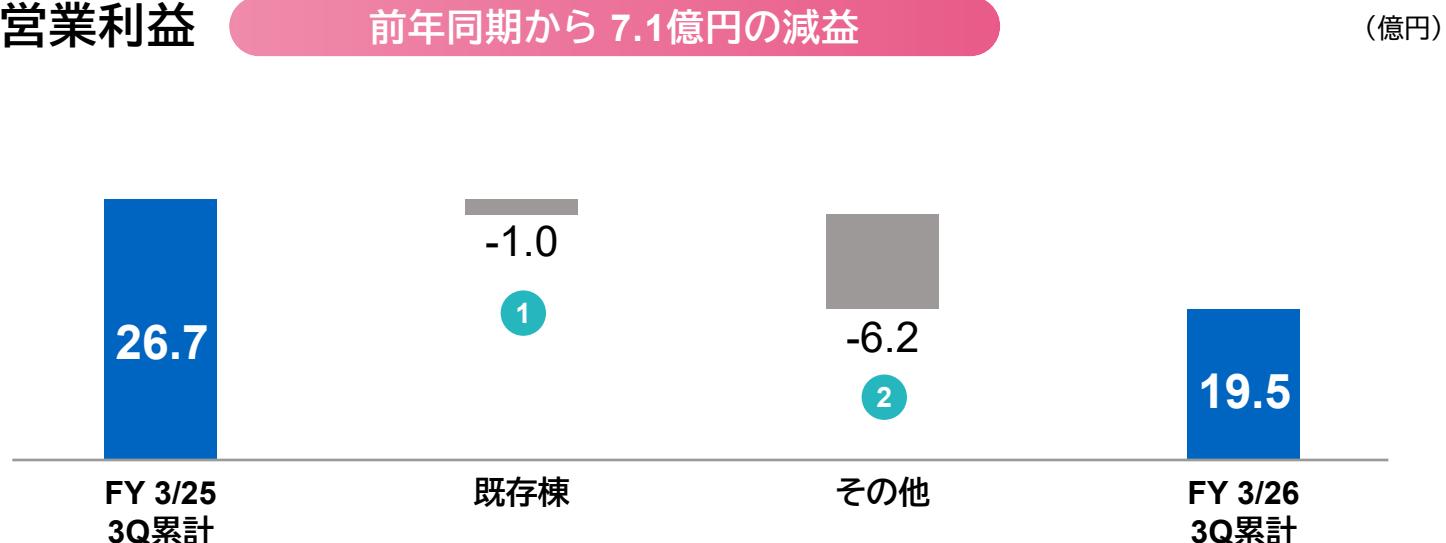
23.1%
(前期対比+2.0pt)

インバウンド比率

14.3%
(前期対比+2.2pt)

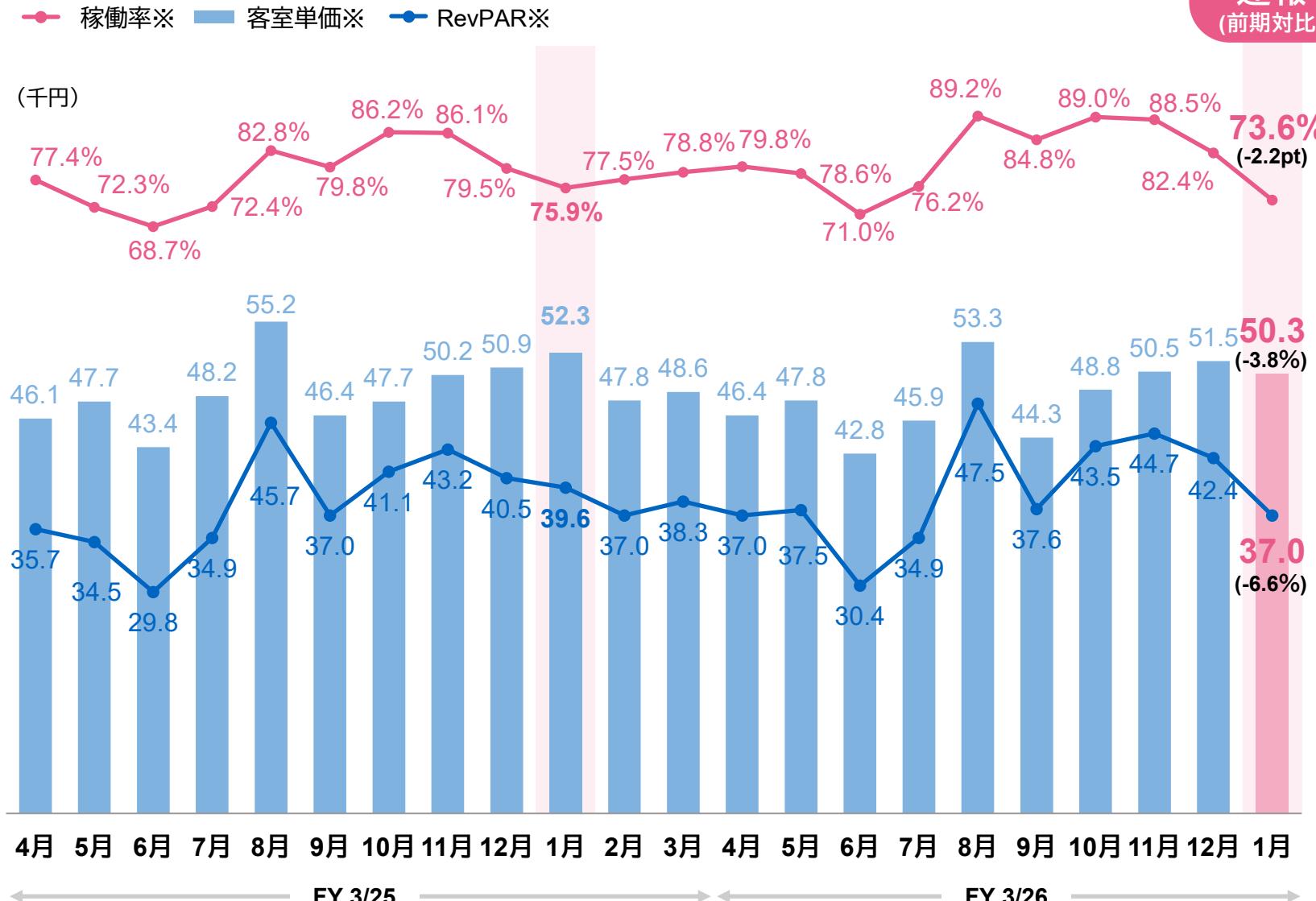
営業利益

前年同期から 7.1億円の減益



(億円)

- ① RevPAR上昇に伴う増収 +8.3
@39,657円 前期対比 +1,433円(+3.7%)
- ② 大規模リニューアル影響 他 +4.6
- ① RevPAR上昇に伴う増益 +3.3
集客手数料減少(自社予約比率上昇) +0.5
コストインフレーション(人件費・リネン・清掃費等) -4.8
- ② 大規模リニューアル影響 -0.8
開業準備費用 -1.7
本部費用 他(人件費等) -3.7



※ 同一条件下で比較するために2024年4月以降に開業したホテルを除外

 速報
 (前期対比)

稼働率 (%)

	1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	通期
FY 3/25	73.0	78.4	83.9	78.5	77.4	78.2
FY 3/26	76.6	83.4	86.6	82.3	-	-
前期対比	+3.7pt	+5.0pt	+2.7pt	+3.8pt	-	-

客室単価 (千円)

	1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	通期
FY 3/25	45.9	50.1	49.5	48.6	49.6	48.9
FY 3/26	45.9	48.0	50.2	48.1	-	-
前期対比	-0	-2.0	+0.7	-0.4	-	-

RevPAR (千円)

	1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	通期
FY 3/25	33.5	39.3	41.6	38.2	38.4	38.2
FY 3/26	35.1	40.1	43.5	39.6	-	-
前期対比	+1.6	+0.8	+1.9	+1.4	-	-

連結貸借対照表

2025年3月末

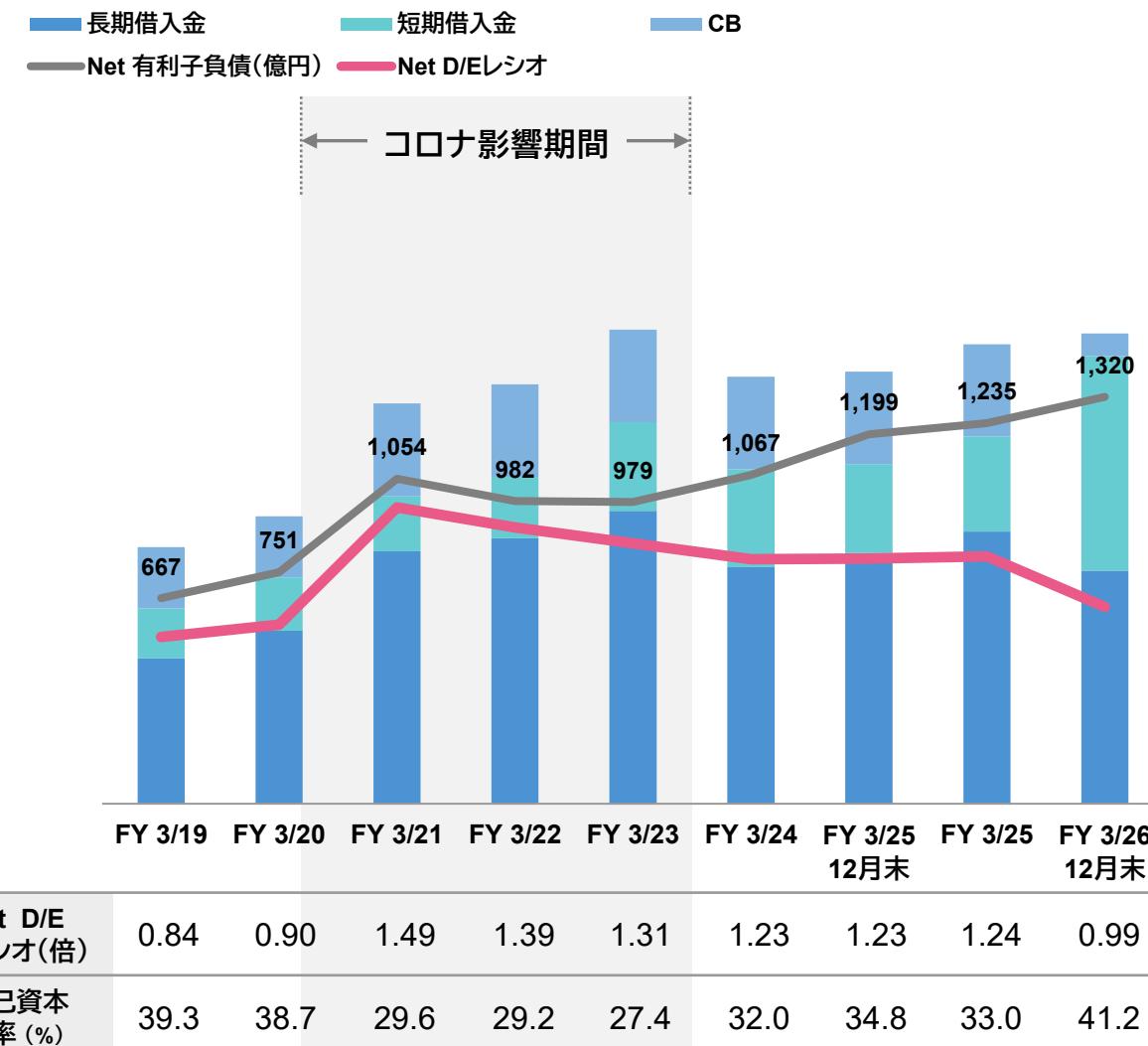
資産	負債
3,014億円	2,021億円
流動資産 695億円	流動負債 1,080億円
現預金 256億円	有利子負債 1,492億円 ※CB300億を含む
販売用不動産等 165億円	固定負債 940億円
固定資産 2,316億円	純資産 993億円
土地・建設仮勘定等 967億円	自己株式 -2億円

2025年12月末

資産	負債
3,236億円 (+221億円)	1,903億円 (-117億円)
流動資産 948億円 (+252億円)	流動負債 1,086億円 (+5億円)
現預金 207億円 (-49億円)	有利子負債 1,527億円 (+35億円) ※CB74億を含む
販売用不動産等 428億円 (+263億円)	固定負債 816億円 (-123億)
固定資産 2,286億円 (-30億円)	純資産 1,332億円 (+339億円)
土地・建設仮勘定等 857億円 (-109億円)	自己株式 -2億円

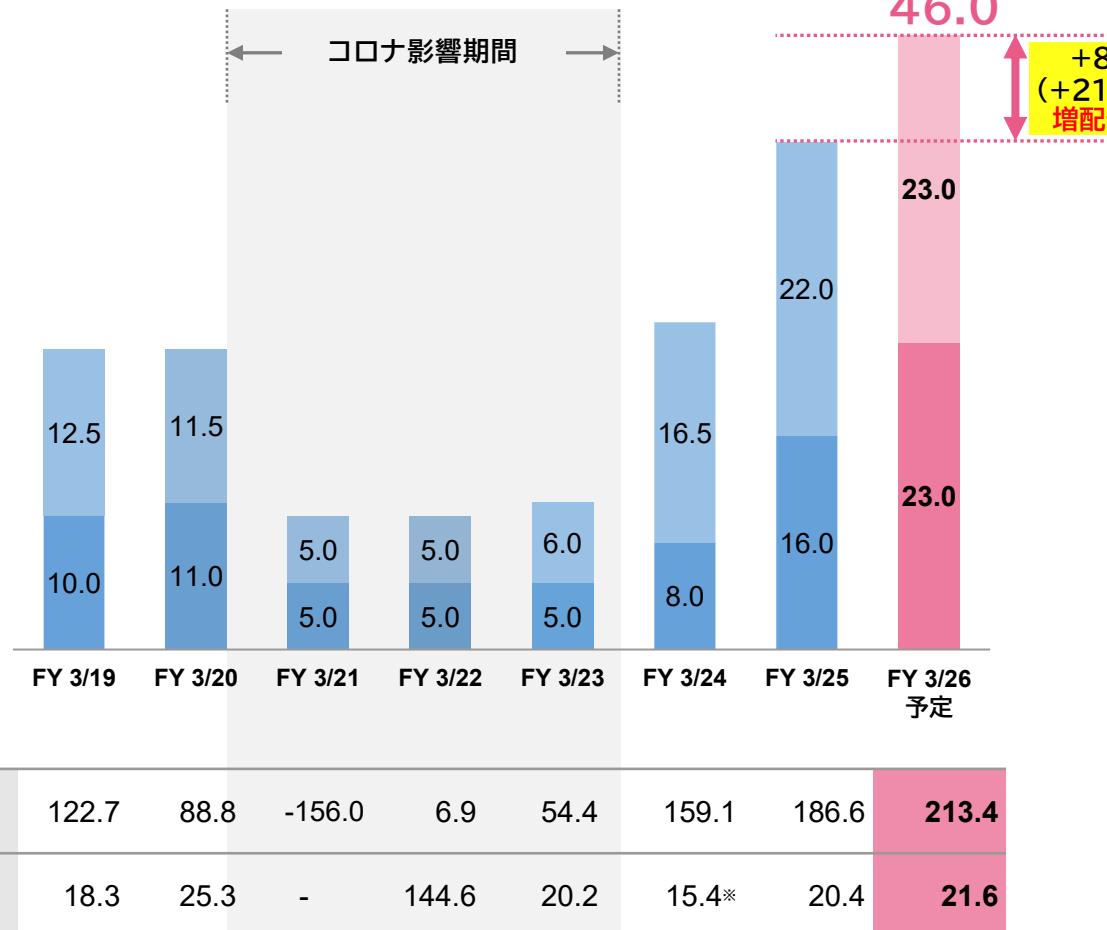
(注)有利子負債=短期借入金+1年内償還予定の社債+社債+長期借入金+リース債務+CB(転換社債)

Net D/E レシオ



配当

■中間配当(円) ■期末配当(円)



※ 2024年3月期における特殊要因である、持分法による投資利益50.2億円および減損損失20.1億円の影響を除いた場合の配当性向は20.3%

株主優待

- 「株主優待券」(7月・12月)
- 「長期保有株主優待券」(7月)
- 「リゾートホテル優待」(7月・12月)



ご所有株式数	株主優待券	長期保有 株主優待券※1	リゾート ホテル 優待※2
100株以上～200株未満	2,000円分	2,000円分	1枚
200株以上～500株未満	4,000円分	4,000円分	
500株以上～1,000株未満	8,000円分	6,000円分	
1,000株以上～2,000株未満	16,000円分	10,000円分	
2,000株以上～5,000株未満	30,000円分	20,000円分	
5,000株以上～10,000株未満	50,000円分	40,000円分	
10,000株以上	120,000円分	60,000円分	10枚

※1 「長期保有株主優待券」は3月31日時点で当社の株式を3年以上継続保有されている株主様が対象

※2 「リゾートホテル優待」の割引率(自安)は下記の通りとなります、詳細は当社コーポレートサイトにてご確認ください

平日(および一部特定期間)：通常料金の約30%割引

休前日・特日等：通常料金の約10%割引

寮事業およびホテル事業の開業見込み

実績				意思決定済・事業化予定						
FY 3/24		FY 3/25		FY 3/26		FY 3/27		FY 3/28		
+12棟*	+1,037室*	+8棟*	+907室*	+12棟*	+1,364室*	+14棟*	+2,424室*	+10棟*	+1,116室*	
寮・ドミール	期末棟数	519棟	期末棟数	526棟	期末棟数	535棟	期末棟数	541棟	期末棟数	551棟
	期末定員室数	44,057室	期末定員室数	44,908室	期末定員室数	46,149室	期末定員室数	47,886室	期末定員室数	49,002室
	リース比率	86.9%	リース比率	87.1%	リース比率	87.1%	リース比率	87.0%	リース比率	86.7%
	[L]弘前、[L]仙台小松島 [L]仙台鉄砲町、[L]山形本町 [L]あすと長町、[L]大塚 [L]葛西グローバルハウス [L]中野坂上、[L]相模大野 [L]大和南、[L]京都西院、[L]神戸山手	[L]大森北、[L]堺海岸通り [L]西葛西北口、[L]西葛西南口 [L]千種南、[L]大阪京橋、 [L]グローバルハウス仁川、 [L]KU ROKKO HOUSE	[L]札幌西11丁目、[L]札幌西18丁目、[L]高松 [L]仙台川内、[L]西大路五条、[L]壬生三条、 [L]坂戸駅前、[L]名駅龜島アネックス、[L]徳島 岡山南方、[L]浦安3、[L]相模大野2	北海道 関東・甲信越 近畿 九州・沖縄	1棟 7棟 3棟 2棟	東北 東海・北陸 中国・四国 九州・沖縄	－ － 1棟 －	東北 東海・北陸 中国・四国 九州・沖縄	1棟 2棟 1棟 －	
	+4棟*	+750室*	+1棟*	+78室*	+4棟*	+637室*	+5棟*	+917室*	+6棟*	+1,111室*
	期末棟数	95棟	期末棟数	96棟	期末棟数	100棟	期末棟数	105棟	期末棟数	111棟
ドミニーアン	期末定員室数	17,107室	期末定員室数	17,180室	期末定員室数	17,817室	期末定員室数	18,734室	期末定員室数	19,845室
	リース比率	97.5%	リース比率	98.5%	リース比率	96.9%	リース比率	93.2%	リース比率	90.9%
	[L]EXPRESS豊橋 野乃浅草別邸 [L]野乃別府 [L]青森	[L]global cabin横浜中華街(リニューアル)	敦賀 EXPRESS雲南 野乃福井 [L]野乃熊本	Standard Premium 御宿 野乃 EXPRESS リモ델	3棟 － － 1棟 1棟	569室 － － 134室 214室	Standard Premium 御宿 野乃 EXPRESS リモдель	－ － 4棟 1棟	－ 222室 710室 179室 －	
	+1棟*	+75室*			+1棟*	+239室*	+2棟*	+157室*	+3棟*	+163室*
	期末棟数	42棟	期末棟数	42棟	期末棟数	43棟	期末棟数	45棟	期末棟数	48棟
	期末定員室数	4,260室	期末定員室数	4,260室	期末定員室数	4,499室	期末定員室数	4,656室	期末定員室数	4,819室
リゾート	リース比率	73.8%	リース比率	73.8%	リース比率	69.9%	リース比率	67.6%	リース比率	65.3%
	[L]ラビスタ横須賀観音崎テラス		ラビスタ熱海テラス	旅館タイプ ラビスタ リゾートタイプ リモ델	1棟 － － 1棟	67室 － － 90室	旅館タイプ ラビスタ リゾートタイプ リモдель	－ 1棟 24室 1棟	－ 77室 24室 62室	
	全社リース比率	88.7 %	89.2%	88.5%	87.4%	86.5%				

* 開発案件の棟数・室数の増加数を示している(期末稼働棟数・室数の前期末からの増加数を表しているものではない)

(注)[L]はリース案件、下線を引いている文字は不動産流動化可能の案件

Copyright © kyoritsugroup.co.jp All rights reserved.

«2026年3月期 業績予想»

※2025年11月21日公表

通期業績予想を据置、営業利益250億円、3期連続最高益を計画に織り込む

寮事業

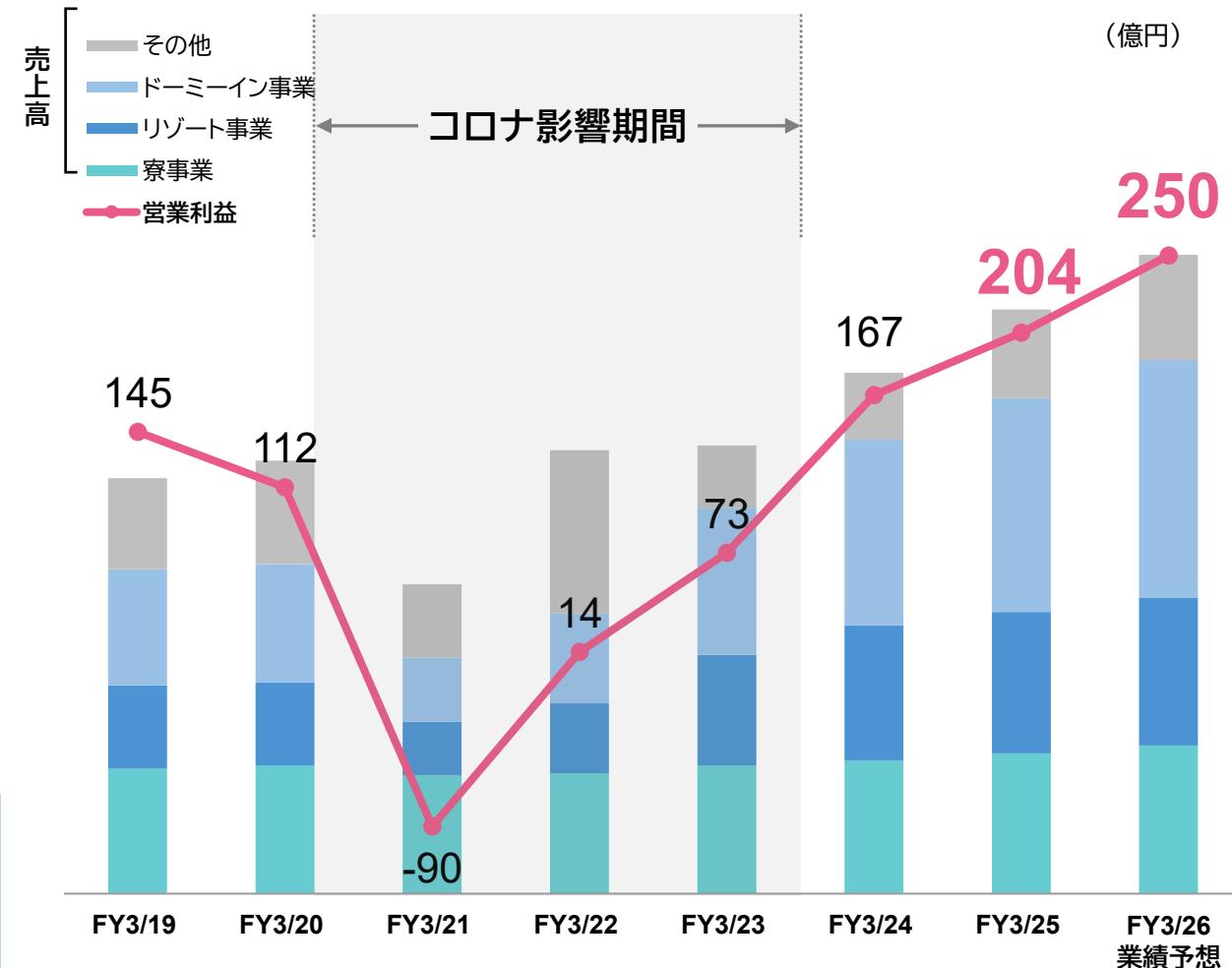
- 4月に12棟1,364室を開業し、期初稼働率は前期から0.4ポイント高い97.4%と高稼働でスタート
- 新規開業事業所の增收効果に加え、販売価格の適正化について継続的に取り組み、增收増益を計画

ホテル事業

- 「開発・開業元年」として、5棟876室の新規開業を計画
- ダイナミックプライシングによる柔軟なレベニューマネジメントを徹底継続、ランニングコストや開業費などの増加を吸収して増益を計画

その他

- 投資資金回収および開業一時費用のオフセットを目的とした不動産流動化を計画(4案件・営業利益合計18億円)

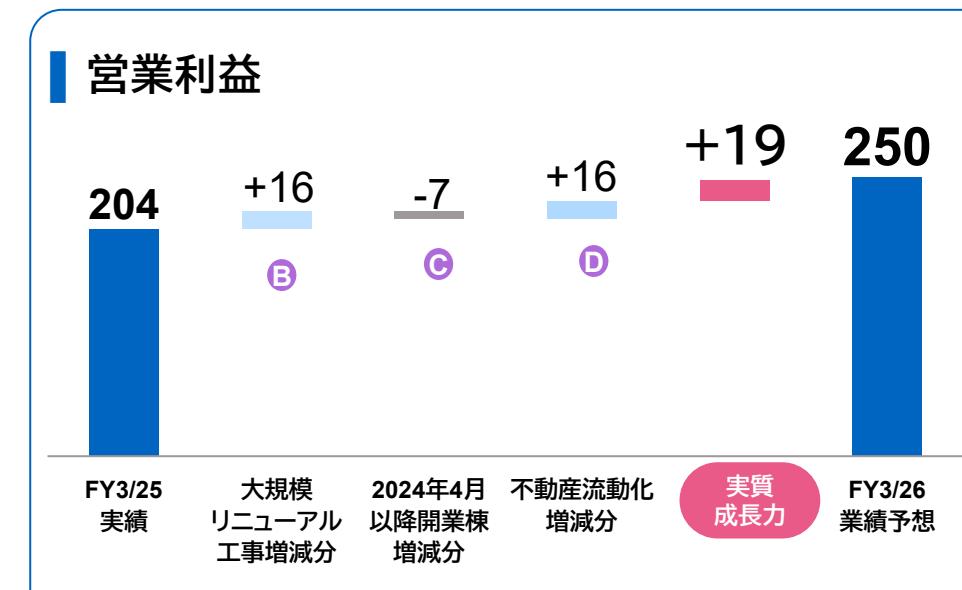


連結業績予想: 主要経営指標

	FY 3/25 実績 (2024/4-2025/3)	FY 3/26 業績予想 (2025/4-2026/3)	前期対比 A	特殊要因	左記要因除く 前期対比 A-B-C-D
売上高	2,289	2,740	+450 +19.7%	+21 +34 +287	+106 +4.7%
営業利益	204	250	+45 +22.0%	+16 -7 +16	+19 +9.6%
経常利益	214	250	+35 +16.7%		
当期純利益	145	180	+34 +23.6%		
EPS(円)	186.6	* ¹ 213.4	+26.8 +14.4%		
1株当たり配当金(円)	38.0	46.0	+8 +21.1%		
減価償却費	77	95	+17 +23.1%		
キャッシュ・フロー* ²	222	275	+52 +23.4%		
設備投資額	480	550	+69 +14.5%		

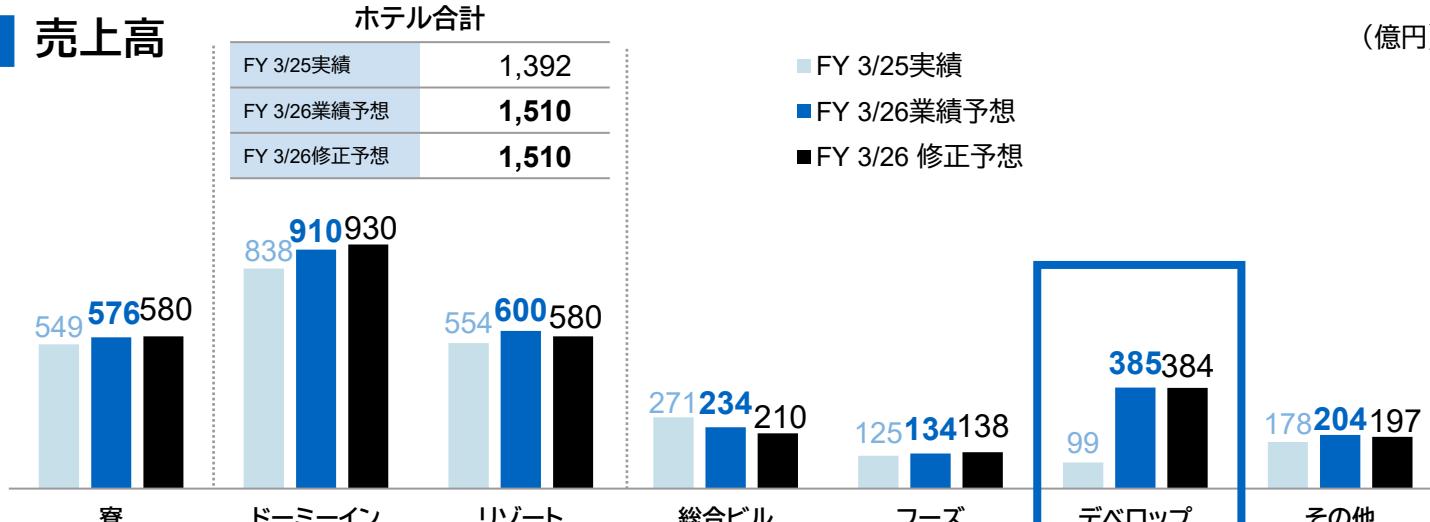
*1 2025年4月1日から2026年1月31日までに発行された転換社債型新株予約権付社債の行使による新株発行(12,804,084株)の影響を考慮して算定、影響額を控除したEPSは230.5円(前期比+23.5%)

*2 キャッシュ・フロー：当期純利益+減価償却費

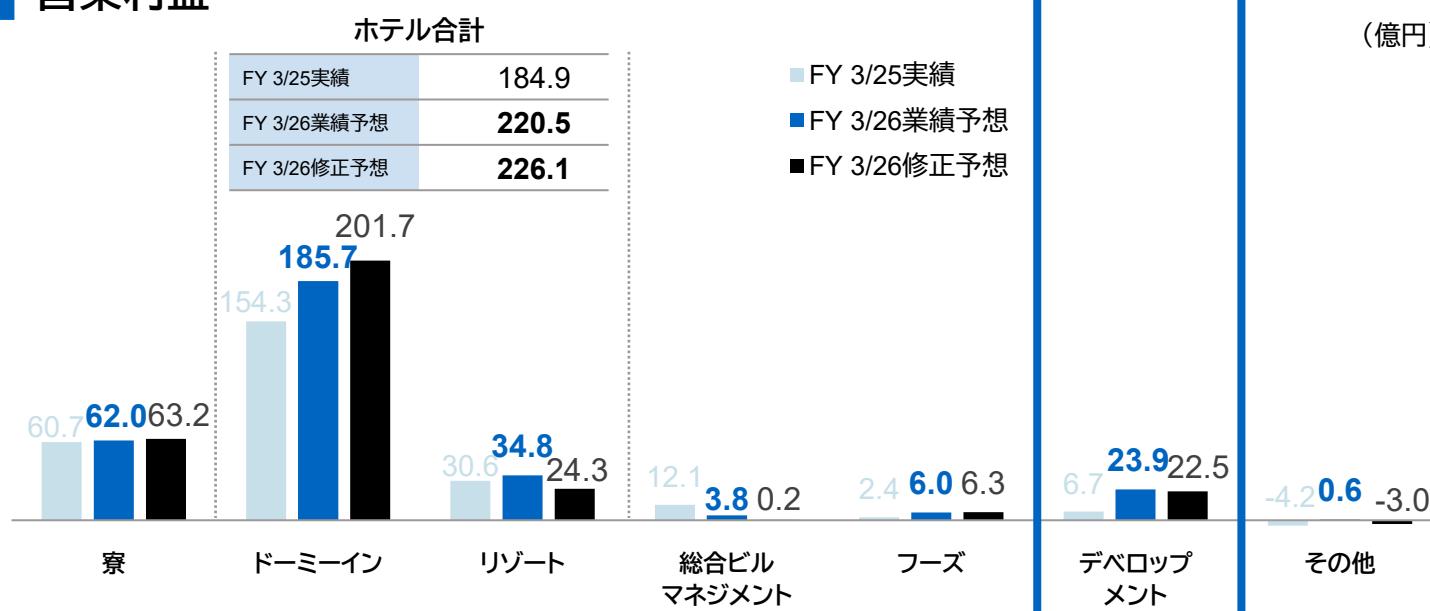


連結業績予想:事業セグメント別内訳 I

売上高



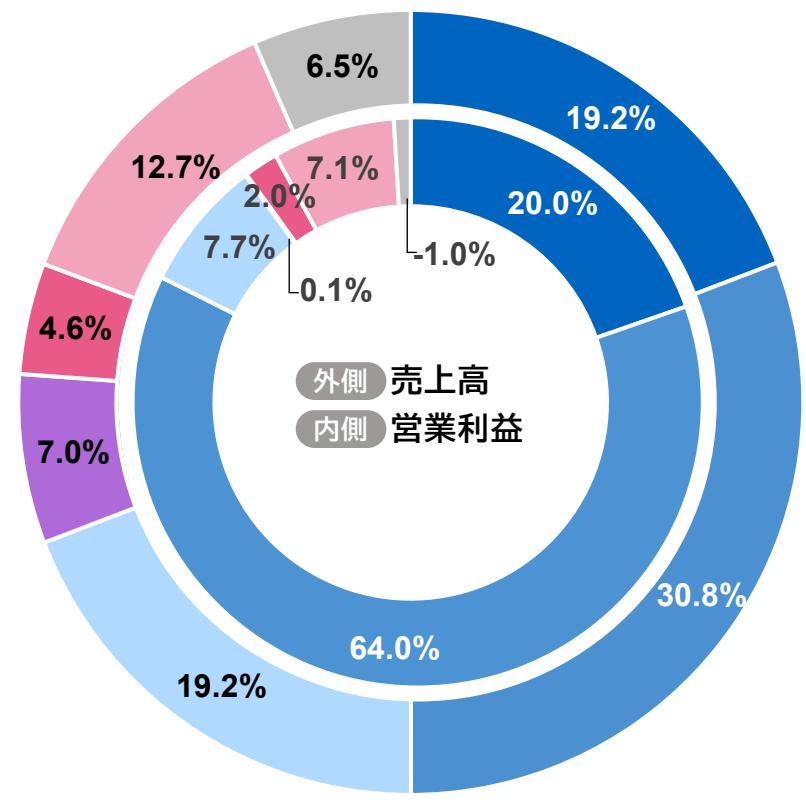
営業利益



(億円)

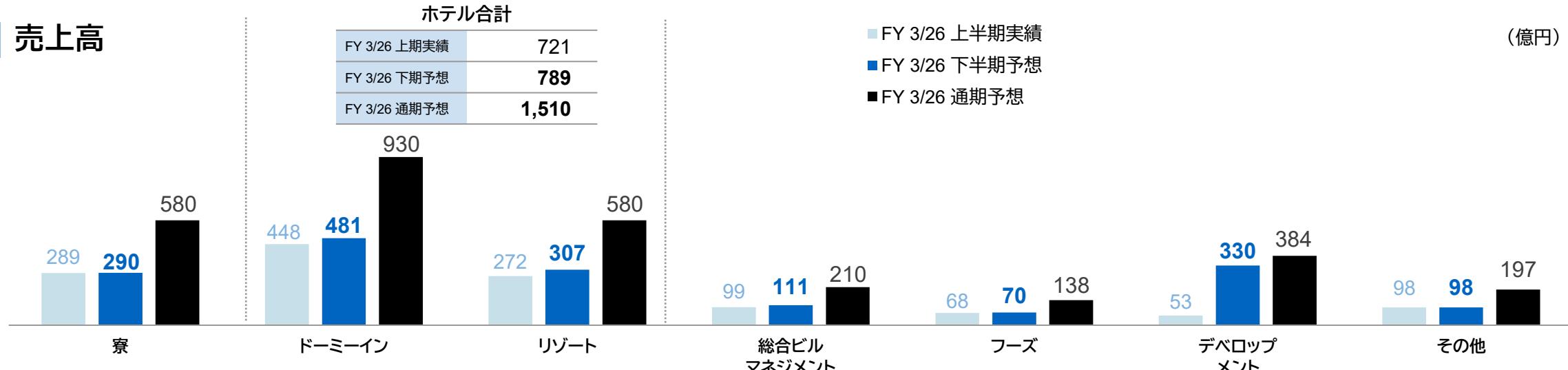
セグメント別構成比 FY 3/26 修正予想 (セグメント間内部取引消去前)

寮 ドーミーイン リゾート 総合ビルマネジメント
フーズ デベロップメント その他

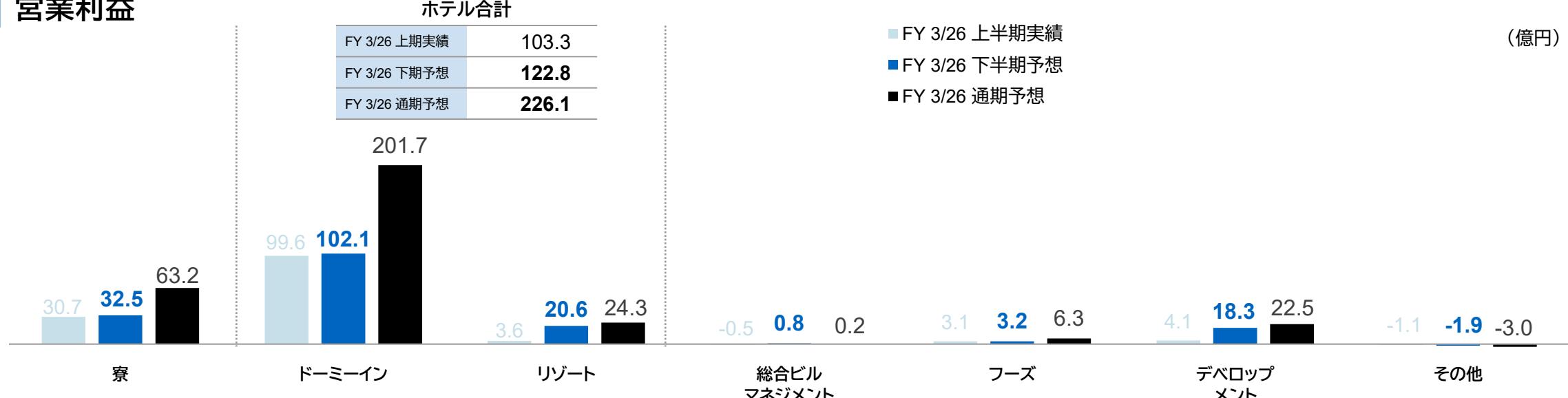


連結業績予想:事業セグメント別内訳 II

売上高



営業利益



連結業績予想 下半期增收増益計画サマリー

売上高

前年同期から 368.5億円／31.3%の増収



① 販売価格適正化および稼働増加

+15

② ホテルのRevPAR上昇

+53

② ホテル新規開業

+12

大規模リニューアル影響

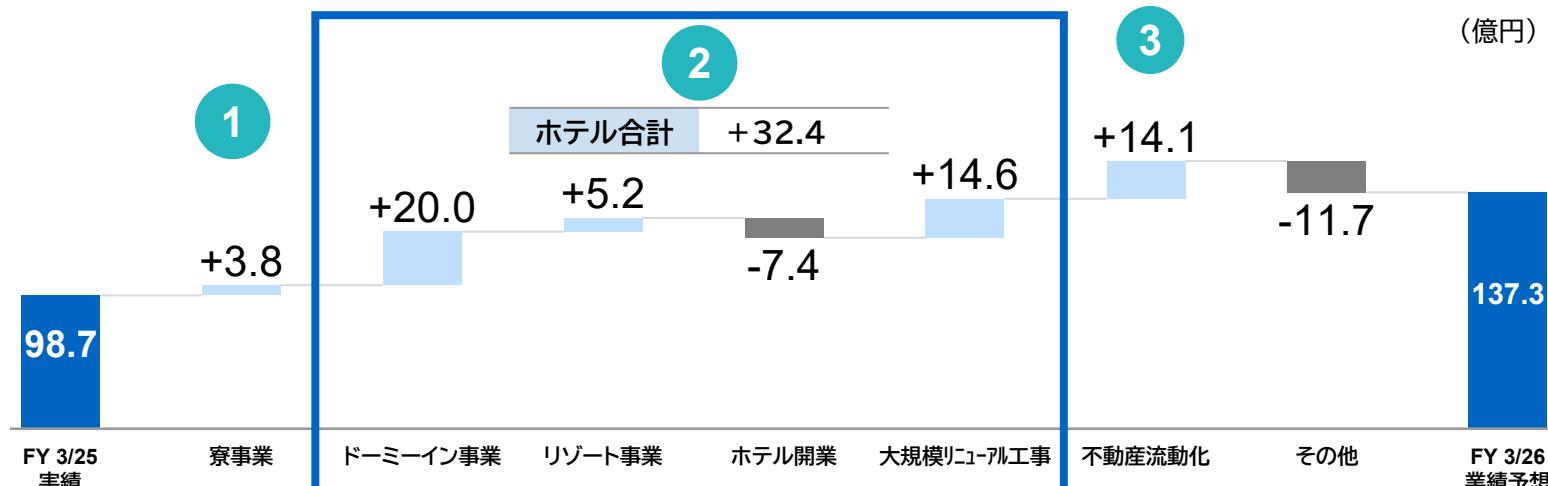
+11

③ 不動産流動化(3物件実施予定)

+258

営業利益

前年同期から 38.5億円／39.1%の増益



① 販売価格適正化および稼働増加

+3.8

② ホテルのRevPAR上昇

+25.2

② 開業費用の増加

-7.4

大規模リニューアル影響

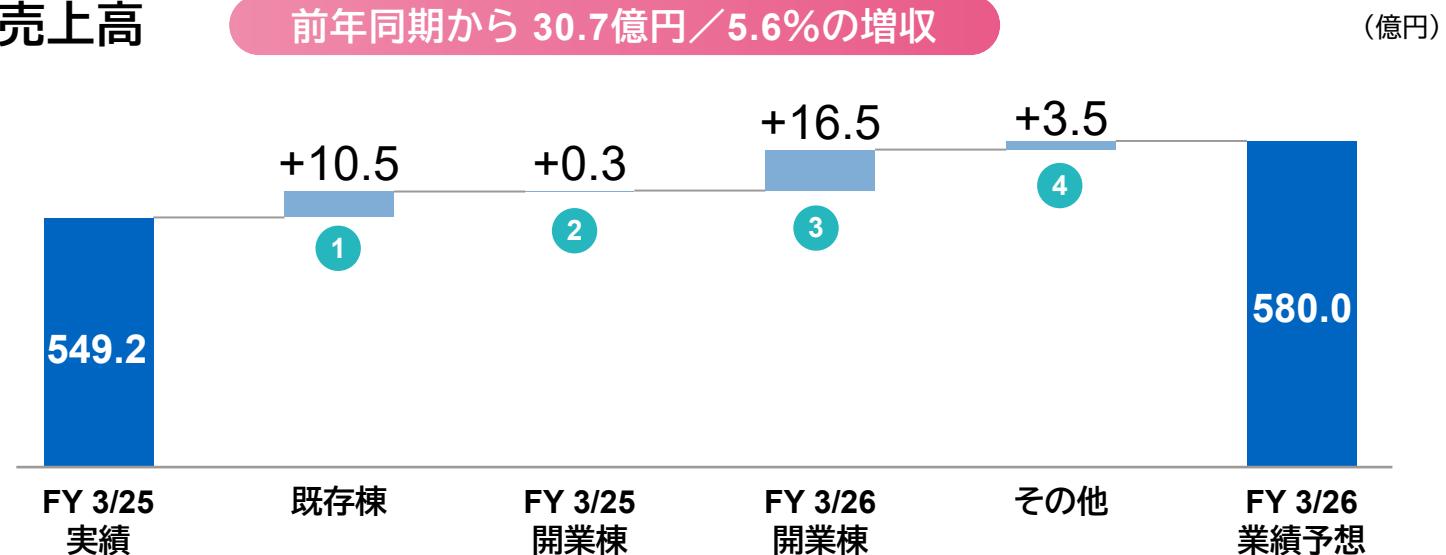
+14.6

③ 不動産流動化(3物件実施予定)

+14.1

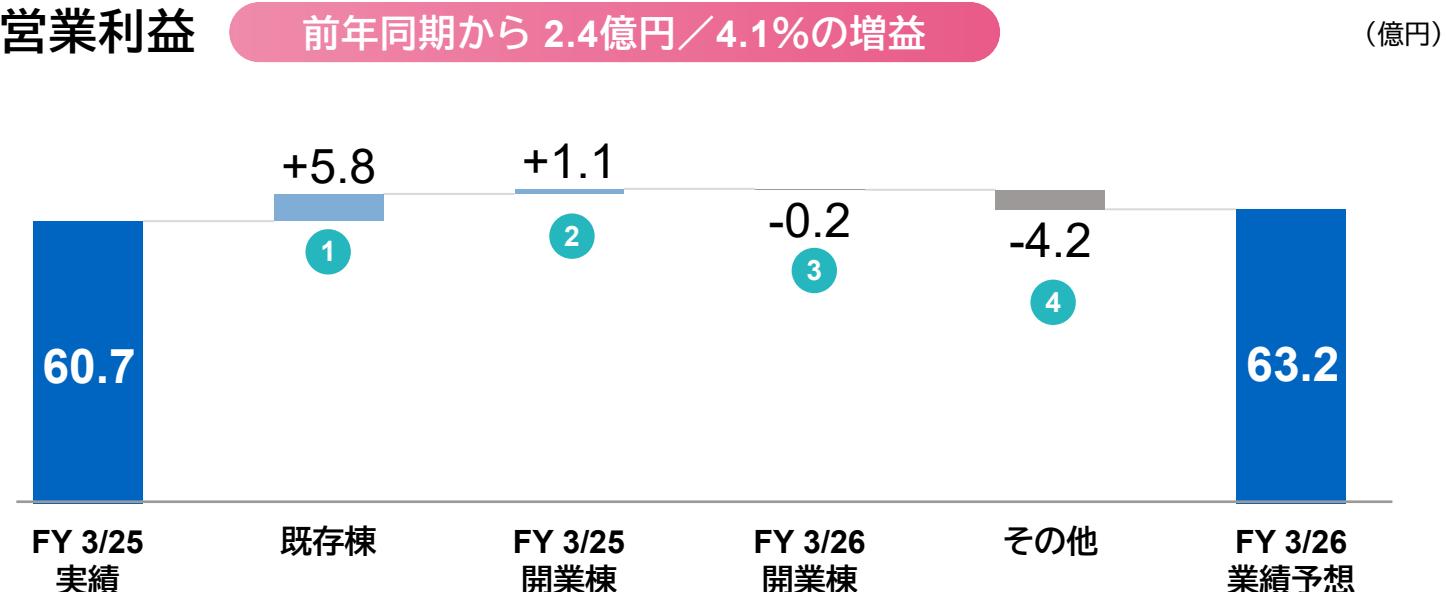
売上高

前年同期から 30.7億円／5.6%の増収



営業利益

前年同期から 2.4億円／4.1%の増益



- ① 販売価格適正化および稼働増加 +13.1
契約金減少 -2.6
- ② 契約金減少 -0.7
稼働増加 他 +1.0
- ③ FY 3/26開業棟 12棟(1,364室)

ドーミー相模大野2	53室	ドーミー名駅亀島アネックス	89室
ドーミー坂戸駅前	172室	ドーミー壬生三条	77室
ドーミー浦安3	33室	ドーミー西大路五条	114室
ドーミー札幌西18丁目	147室	ドーミー岡山南方	178室
ドーミー札幌西11丁目	100室	ドーミー高松錦町	126室
ドーミー仙台川内Hills	156室	徳島大学提携国際学生寮アズール	119室
- ④ 受託事業 他 +3.5

- ① 販売価格適正化および稼働増加 +12.5
契約金減少 -2.6
コストインフレーション 他(食材費・水道光熱費等) -4.1
- ② 契約金減少 -0.7
開業費減少 +0.8
稼働増加 他 +1.0
- ③ 契約金増加 +1.5
開業費増加 他 -1.7
- ④ 本部費用 他(人件費等) -4.2

寮事業 ※すべて2025年4月開業

施設名	都道府県	室数
ドーミー相模大野2	神奈川県	53室
ドーミー坂戸駅前	埼玉県	172室
ドーミー浦安3	千葉県	33室
ドーミー札幌西18丁目	北海道	147室
ドーミー札幌西11丁目	北海道	100室
ドーミー仙台川内Hills	宮城県	156室
ドーミー名駅亀島アネックス	愛知県	89室
ドーミー壬生三条	京都府	77室
ドーミー西大路五条	京都府	114室
ドーミー岡山南方	岡山県	178室
ドーミー高松錦町	香川県	126室
徳島大学提携国際学生寮アズール	徳島県	119室
合計	12棟	1,364室



ドーミー高松錦町



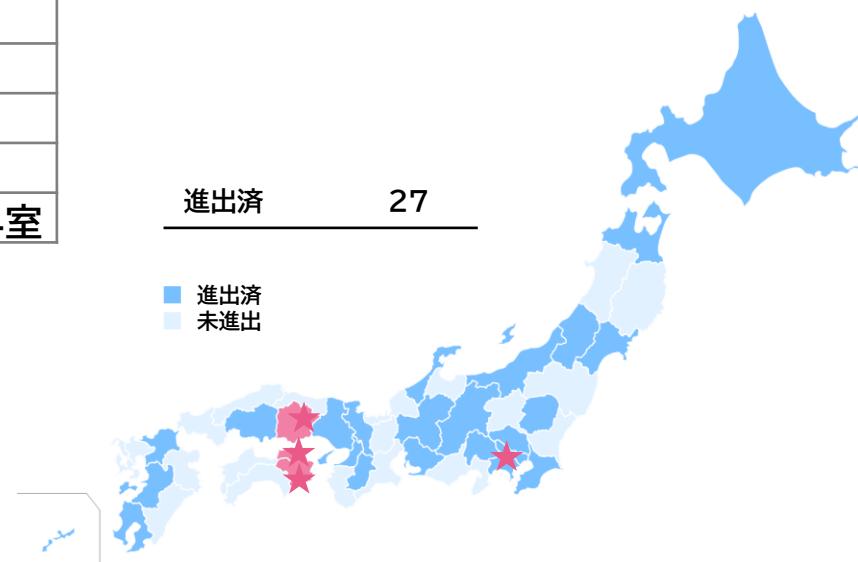
ドーミー岡山南方



ドーミー大井町二葉

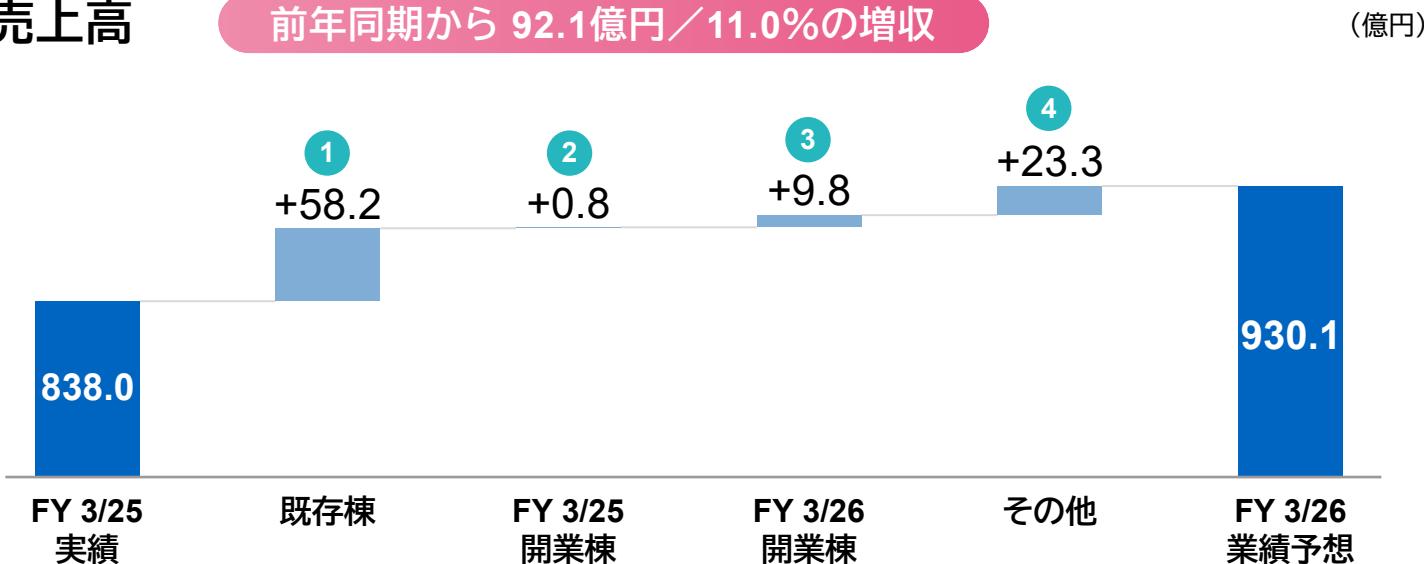
シニアライフ事業

施設名	都道府県	室数	開業月
大井町二葉	東京都	70室	2025年4月
大森町	東京都	80室	2025年10月
合計	2棟	150室	



売上高

前年同期から 92.1億円／11.0%の増収



① RevPAR上昇に伴う増収

@14,873円(前期対比+1,077円)

② FY 3/25開業棟 1棟(78室)

10月 global cabin 横浜中華街(リニューアル) 78室

③ FY 3/26開業棟 4棟(637室)

10月 敦賀 199室 11月 御宿野乃 熊本 191室

10月 EXPRESS 雲南 94室 2月 御宿野乃 福井 153室

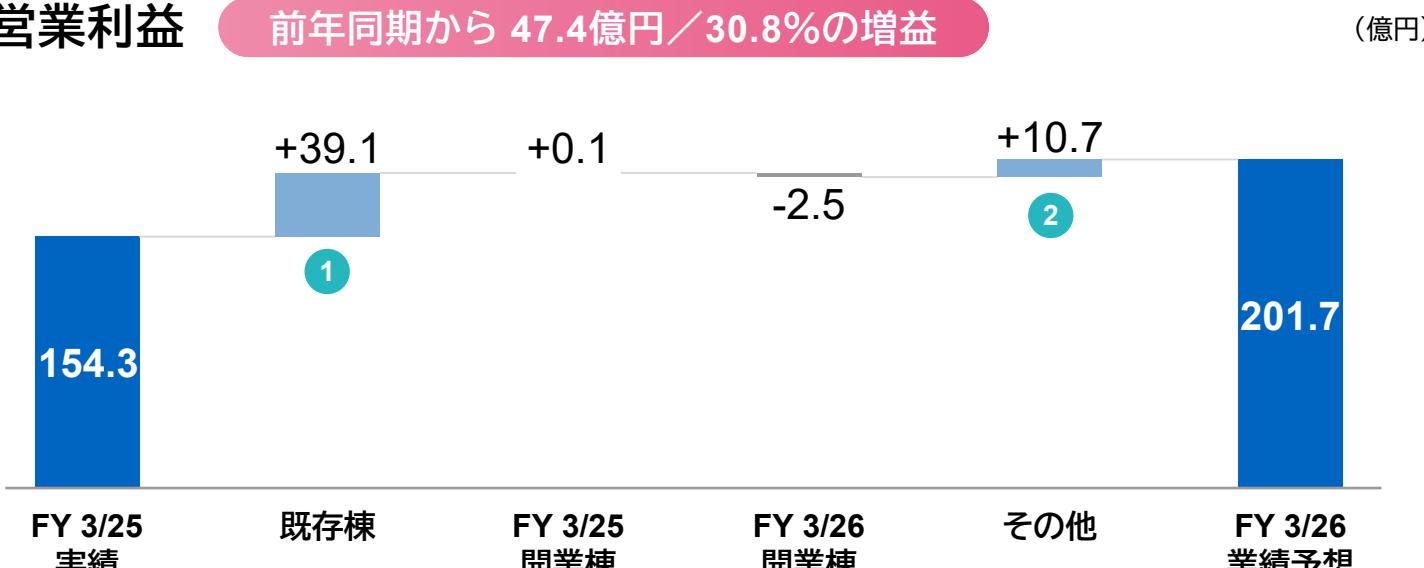
④ 大規模リニューアル影響

韓国 他

+58.2

営業利益

前年同期から 47.4億円／30.8%の増益



① RevPARの上昇に伴う増益

集客手数料減少

+50.6

+3.5

コストインフレーション

-15.0

② 大規模リニューアル影響

開業準備費用

+18.2

+2.4

本部費用 他

-9.9

ドーミーイン事業

施設名	都道府県	室数	開業月
敦賀	福井県	199室	2025年10月
EXPRESS雲南	島根県	94室	2025年10月
御宿野乃 熊本	熊本県	191室	2025年11月
御宿野乃 福井	福井県	153室	2026年2月
合計	4棟	637室	



EXPRESS雲南



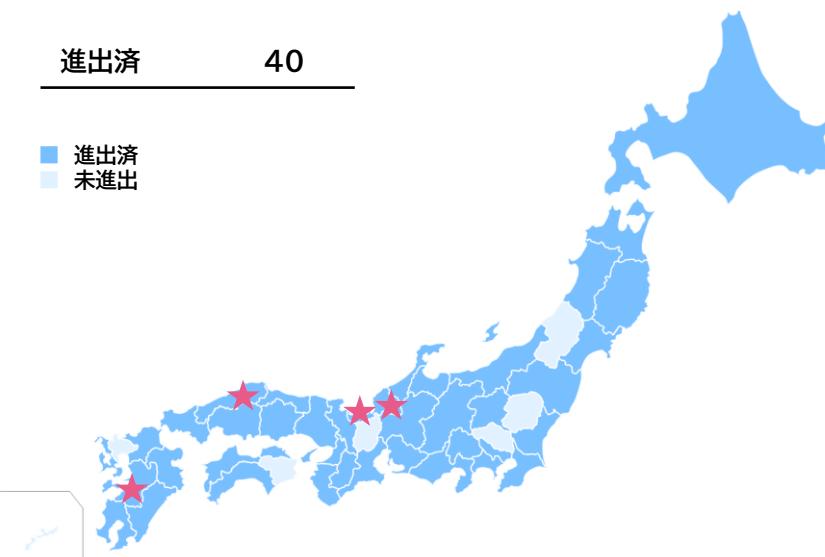
御宿野乃 福井



御宿野乃 熊本

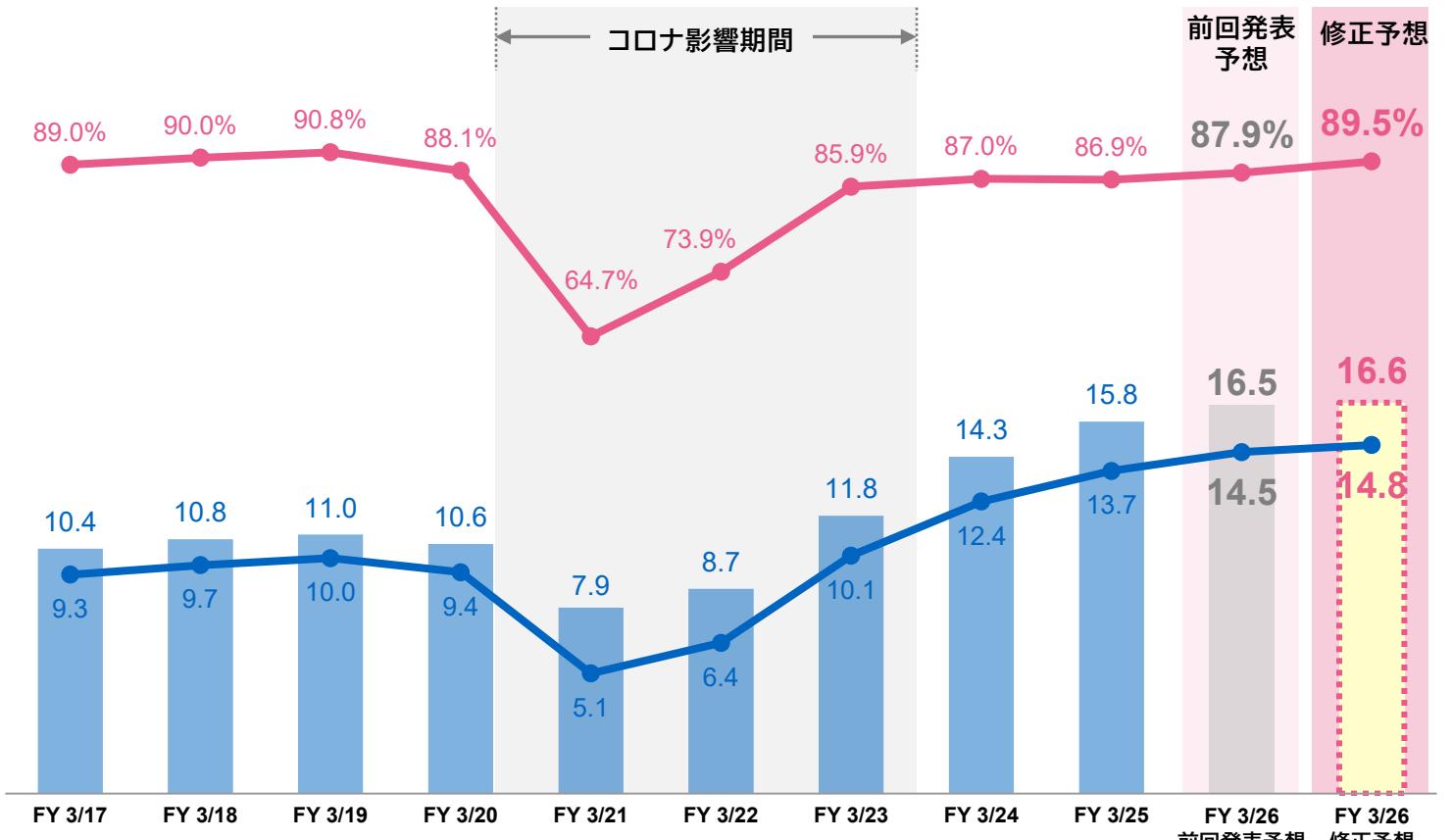


敦賀



● 稼働率※ ■ 客室単価※ ● RevPAR※

(千円)



※ 3期を同一条件下で比較するために2024年4月以降に開業したホテルを除外

	FY 3/25	FY 3/26 前回発表 予想	前期対比	FY 3/26 修正予想	前期対比
--	---------	-----------------------	------	-----------------	------

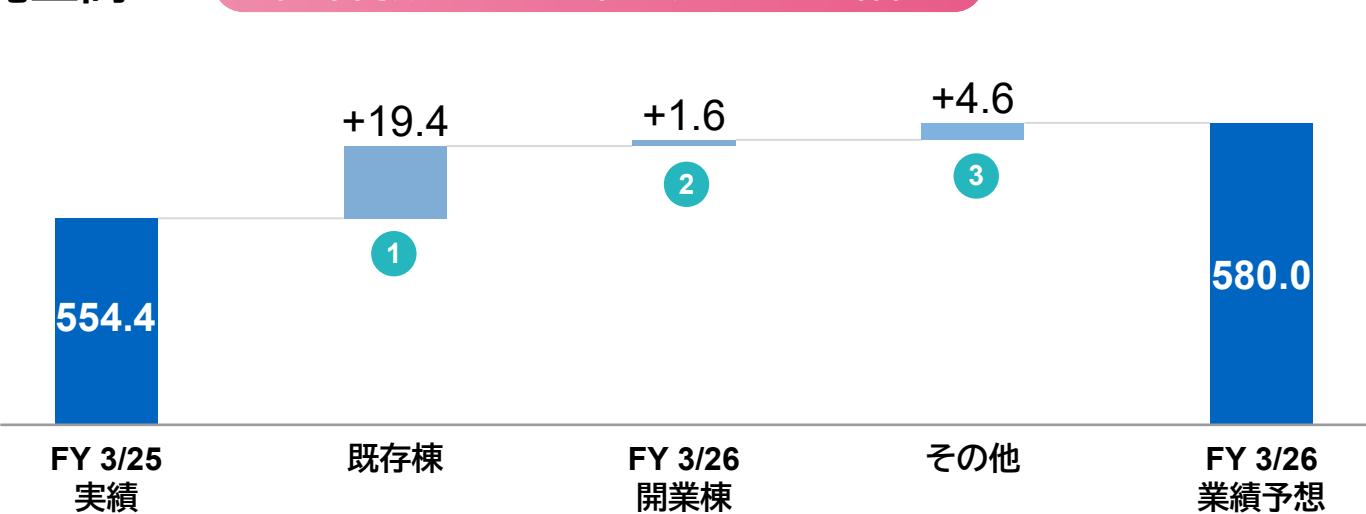
OCC (%)	86.9	87.9	+1.0pt	89.5	+2.6pt
ADR (千円)	15.8	16.5	+4.3%	16.6	+4.7%
RevPAR (千円)	13.7	14.5	+5.5%	14.8	+7.8%

	上期			下期		
	FY 3/25	FY 3/26	前期対比	FY 3/25	FY 3/26 予測	前期対比
OCC (%)	85.6	87.9	+2.3pt	88.3	91.1	+2.8pt
ADR (千円)	15.6	16.4	+5.3%	16.1	16.7	+4.1%
RevPAR (千円)	13.3	14.4	+8.1%	14.2	15.2	+7.4%

売上高

前年同期から 25.6億円／4.6%の増収

(億円)



① RevPAR上昇に伴う増収

@40,311円(前期対比 +2,043円)

+19.4

② FY 3/26開業棟 1棟(239室)

3月 ラビスタ熱海テラス

239室

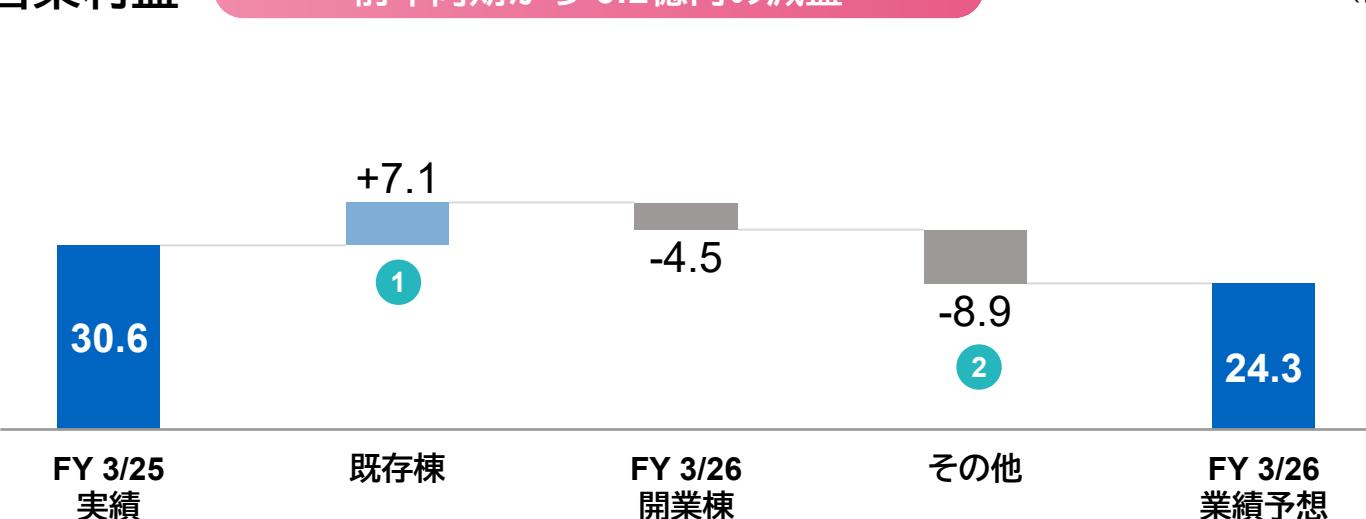
③ 大規模リニューアル影響 他

+4.6

営業利益

前年同期から 6.2億円の減益

(億円)



① RevPAR上昇に伴う増益

集客手数料減少(自社予約比率上昇)

+12.6

+0.7

コストインフレーション(人件費・食材費・清掃費)

-6.2

② 大規模リニューアル影響

開業準備費用

-2.0

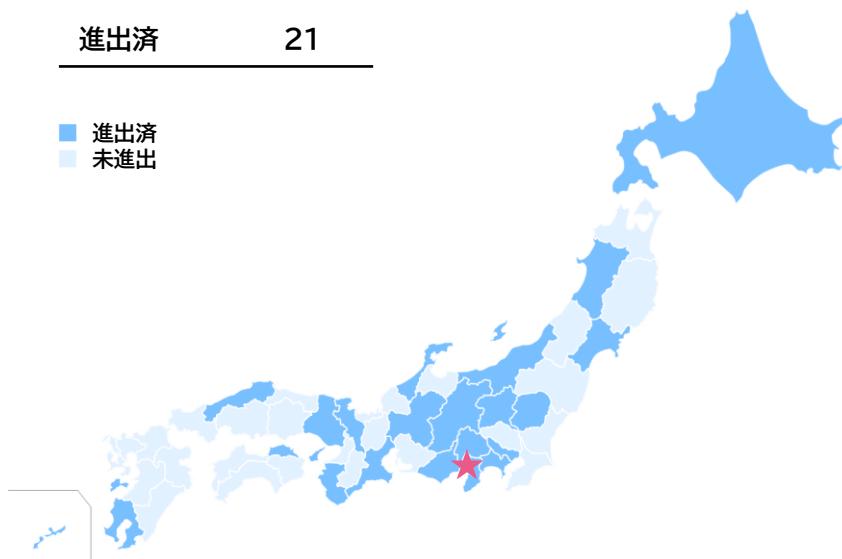
本部費用 他(人件費等)

-2.1

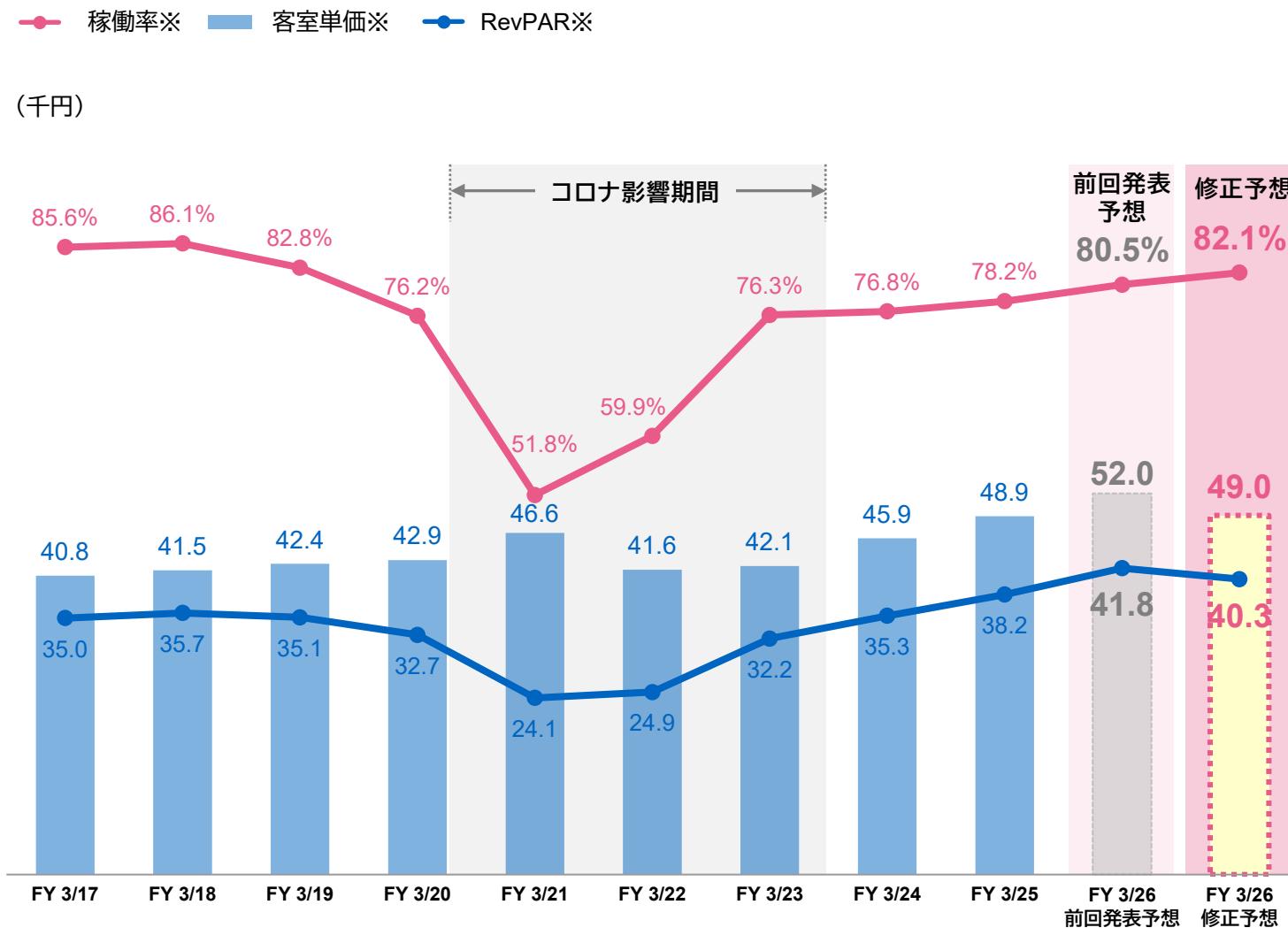
-4.8

リゾート事業

施設名	都道府県	室数	開業月
ラビ斯塔熱海テラス	静岡県	239室	2026年3月
合計	1棟	239室	



ラビ斯塔熱海テラス



	FY 3/25		FY 3/26 前回発表予想		前期対比		FY 3/26 修正予想		前期対比	
	OCC (%)	78.2	80.5	+2.2pt	82.1	+3.9pt				
ADR (千円)	48.9	52.0	+6.4%	49.0	+0.3%					
RevPAR (千円)	38.2	41.8	+9.4%	40.3	+5.3%					

	上期			下期		
	FY 3/25	FY 3/26	前期対比	FY 3/25	FY 3/26 予測	前期対比
OCC (%)	75.7	80.1	+4.3pt	80.7	84.2	+3.5pt
ADR (千円)	48.1	47.0	-2.3%	49.5	51.0	+2.9%
RevPAR (千円)	36.4	37.6	+3.2%	40.4	42.9	+7.4%

重要な注意事項

本注意事項において、「プレゼンテーション(presentation)」とは、本プレゼンテーションにおいて株式会社 共立メンテナンス(以下、「共立」)によって説明または配布された本書類、口頭のプレゼンテーション、質疑応答および書面または口頭の資料を意味します。本プレゼンテーション(それに関する口頭の説明および質疑応答を含みます)は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申し込み、交換、売却その他の処分の提案、案内もしくは勧誘またはいかなる投票もしくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明または形成するものではありません。

共立が直接的に、または間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「共立」という用語は、共立およびその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社(we, usおよびour)」という用語は、子会社全般またはそこで勤務する者を参照していることもあります。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることがあります。

将来に関する見通し情報

本プレゼンテーションおよび本プレゼンテーションに関して配布された資料には、共立の見積もり、予測、目標および計画を含む当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、理念または見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする(targets)」、「計画する(plans)」、「信じる(believes)」、「望む(hopes)」、「継続する(continues)」、「期待する(expects)」、「目指す(aims)」、「意図する(intends)」、「だろう(will)」、「かもしれない(may)」、「すべきであろう(should)」、「であろう(would)」、「することができた(could)」、「予想される(anticipations)」、「見込む(estimates)」、「予想する(projects)」などの用語または同様の用語もしくはその否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。この書類における将来見通し情報は、現在当社が入手可能な情報に鑑みて行った当社の現在の前提および理念に基づくものです。かかる将来見通し情報は、当社または当社の役員による、将来の業績に関する保証を表すものではなく、既知および未知のリスクとその不確実性、その他の要素を伴います。リスクと不確実性には、日本および世界中の一般的な経済条件を含む当社の事業を取り巻く経済状況、競合品の出現・開発、規制当局による判断とその時期、自然災害などが含まれますが、これらに限りません。これらにより、当社の実際の業績、経営結果、財務内容は、将来見通し情報において、明示または暗示された将来の業績、経営結果、財務内容とは、大きく異なる可能性があります。当社または当社の役員は、この将来見通し情報において示された予想が結果的に正しいということを何ら保証するものではなく、実際の業績または経営結果は予想と大きく異なることがあります。本プレゼンテーションの受領者は、将来見通し情報に過度に依存するべきではありません。共立は本プレゼンテーションに含まれる、または当社が提示するいかなる将来見通し情報について、これを更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また本プレゼンテーションにおける共立の経営結果は当社の将来の経営結果を示すものではなく、またその予測、予想または見積もりではありません。

よい朝のために。

よい朝のために。

